

【表紙】

【提出書類】	訂正有価証券届出書
【提出先】	関東財務局長殿
【提出日】	平成28年11月18日提出
【発行者名】	三井住友アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 松下 隆史
【本店の所在の場所】	東京都港区愛宕二丁目5番1号
【事務連絡者氏名】	土田 雅央
【電話番号】	03-5405-0740
【届出の対象とした募集(売出)内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	三井住友・DC年金バランス30(債券重点型) 三井住友・DC年金バランス50(標準型) 三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)
【届出の対象とした募集(売出)内国投資 信託受益証券の金額】	継続募集額(平成28年5月13日から平成29年5月18日まで) 三井住友・DC年金バランス30(債券重点型) 2兆5,000億円を上限とします。 三井住友・DC年金バランス50(標準型) 2兆5,000億円を上限とします。 三井住友・DC年金バランス70(株式重点型) 2兆5,000億円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

平成28年 5月12日付をもって提出しました「三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）」、「三井住友・DC年金バランス50（標準型）」、「三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）」の有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）について、平成28年11月18日に半期報告書を提出したことに伴う関係情報の更新、委託会社の直接募集の開始を含むファンド情報の更新等を行うため、本訂正届出書により訂正を行うものです。

2【訂正の内容】

<訂正前>および<訂正後>に記載している下線部_____は訂正部分を示し、<更新後>に記載している内容は原届出書が更新されます。また、原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況 1 財務諸表」に中間財務諸表（比較情報を除きます。）の記載事項が追加されます。

第一部【証券情報】

(6)【申込単位】

<訂正前>

1円以上1円単位

<訂正後>

お申込単位の詳細は、お申込みの販売会社または前記「(4)発行(売出)価格」に記載の委託会社にお問い合わせください。

(8)【申込取扱場所】

<訂正前>

販売会社において申込みを取り扱います。

販売会社の詳細につきましては、前記「(4)発行(売出)価格」に記載の委託会社にお問い合わせください。

<訂正後>

販売会社において申込みを取り扱います。なお、委託会社においても申込みを取り扱いますので、委託会社は販売会社としての役割も有します。

販売会社の詳細につきましては、前記「(4)発行(売出)価格」に記載の委託会社にお問い合わせください。

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1【ファンドの性格】

(3)【ファンドの仕組み】

<更新後>

イ 当ファンドの関係法人とその役割

(イ) 委託会社 「三井住友アセットマネジメント株式会社」

証券投資信託契約に基づき、信託財産の運用指図、投資信託説明書（目論見書）および運用報告書の作成等を行います。

(ロ) 受託会社 「三井住友信託銀行株式会社」

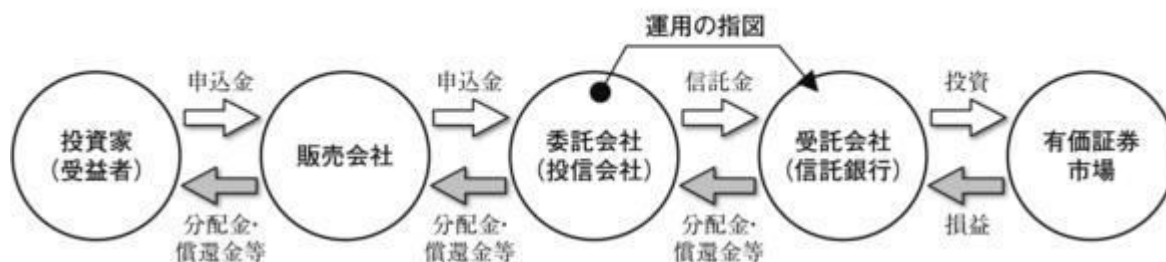
証券投資信託契約に基づき、信託財産の保管・管理・計算等を行います。なお、信託事務の一部につき、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託することがあります。また、外国における資産の保管は、その業務を行うに十分な能力を有すると認められる外国の金融機関が行う場合があります。

(ハ) 販売会社

委託会社との間で締結される販売契約（名称の如何を問いません。）に基づき、当ファンドの募集・販売の取扱い、投資信託説明書（目論見書）の提供、受益者からの一部解約実行請求の受付け、受益者への収益分配金、一部解約金および償還金の支払事務等を行います。

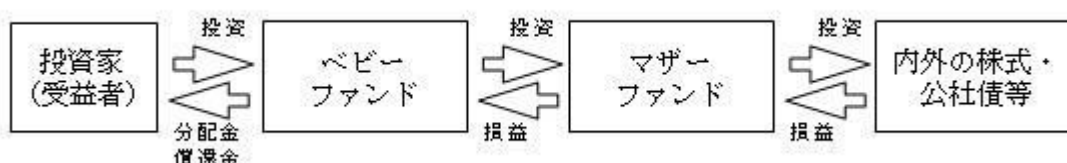
委託会社は販売会社としての役割も有します。

運営の仕組み



当ファンドの運用は、「ファミリーファンド方式」で行われます。

「ファミリーファンド方式」とは、複数のファンドを合同運用する仕組みで、受益者の資金をまとめて「ベビーファンド」とし、「ベビーファンド」の資金の全部または一部を「マザーファンド」に投資することにより、実質的な運用は「マザーファンド」において行う仕組みです。



ロ 委託会社の概況

(イ) 資本金の額

2,000百万円（平成28年 9月30日現在）

（ロ）会社の沿革

昭和60年 7月15日	三生投資顧問株式会社設立
昭和62年 2月20日	証券投資顧問業の登録
昭和62年 6月10日	投資一任契約にかかる業務の認可
平成11年 1月 1日	三井生命保険相互会社の特別勘定運用部門と統合
平成11年 2月 5日	三生投資顧問株式会社から三井生命グローバルアセットマネジメント株式会社へ商号変更
平成12年 1月27日	証券投資信託委託業の認可取得
平成14年12月 1日	住友ライフ・インベストメント株式会社、スミセイ グローバル投信株式会社、三井住友海上アセットマネジメント株式会社およびさくら投信投資顧問株式会社と合併し、三井住友アセットマネジメント株式会社に商号変更
平成25年 4月 1日	トヨタアセットマネジメント株式会社と合併

（ハ）大株主の状況

（平成28年10月 1日現在）

名称	住所	所有 株式数	比率 (%)
株式会社三井住友フィナンシャルグループ	東京都千代田区丸の内一丁目 1 番 2 号	10,584	60.0
住友生命保険相互会社	大阪府大阪市中央区城見一丁目 4 番35号	3,528	20.0
三井住友海上火災保険株式会社	東京都千代田区神田駿河台三丁目 9 番地	3,528	20.0

2【投資方針】

（1）【投資方針】

<更新後>

イ 基本方針

内外の株式・公社債に投資する4つのマザーファンドの組入れを通じて、わが国を含む世界各国の株式、公社債に分散投資することにより、信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。

国内株式	国内株式インデックス・マザーファンド（B号）
国内債券	国内債券パッシブ・マザーファンド
外国株式	外国株式インデックス・マザーファンド
外国債券	外国債券パッシブ・マザーファンド

ロ 投資態度

（イ）各ファンドにつき、マザーファンド受益証券への投資を通じて行う各資産への実質的な基本資産配分は下記の通りとします。

ただし、それぞれの資産の時価変動等に伴う各資産比率の変化については、一定の範囲（±3%）を設けて調整を行います。

	マイパッケージ30	マイパッケージ50	マイパッケージ70
株 式	30%	50%	70%
国内株式	20%	35%	50%
外国株式	10%	15%	20%
債 券	65%	45%	25%
国内債券	55%	35%	15%
外国債券	10%	10%	10%
短期金融資産	5%	5%	5%

（ロ）各ファンドの運用は、以下の比率により委託会社が独自に作成した合成指数をベンチマークと

し、中長期的にベンチマークに連動する投資成果を目指します。

	マイパッケージ 30	マイパッケージ 50	マイパッケージ 70
TOPIX（東証株価指数、配当込み）	20%	35%	50%
NOMURA - BPI（総合）	55%	35%	15%
MSCI コクサイインデックス（配当込み、円ベース）	10%	15%	20%
シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	10%	10%	10%
有担保コール翌日物	5%	5%	5%

（ハ）実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないことを基本とします。

（ニ）非株式割合に関する制限

a．マイパッケージ30

制限はありません。

b．マイパッケージ50

株式以外の資産（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合は、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資割合は、原則として信託財産総額の75%以下とします。

c．マイパッケージ70

株式以外の資産（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合は、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

（ホ）資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

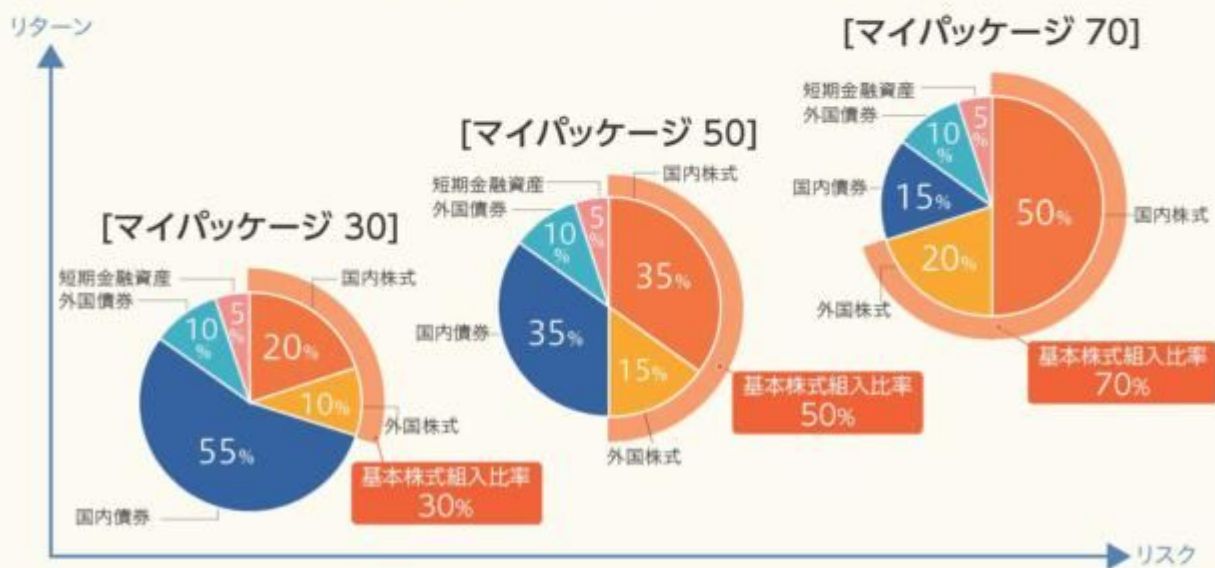
ファンドの特色

1 内外の株式・公社債に投資する4つのマザーファンドの組入れを通じて、わが国を含む世界各国の株式、公社債に分散投資することにより、信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。

2 各ファンドにつき、国内株式、国内債券、外国株式、外国債券および短期金融資産への実質的な基本資産配分は下記の通りとします。

- それぞれの資産の時価変動等に伴う各資産比率の変化については、一定の範囲（±3%）を設けて調整を行います。

〔各ファンドの基本資産配分イメージ〕



※上図はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

3 運用にあたっては、委託会社が独自に作成した合成指数をベンチマークとし、中長期的にベンチマークに連動する投資成果を目指します。

〔各ファンドのベンチマークの資産別合成比率〕

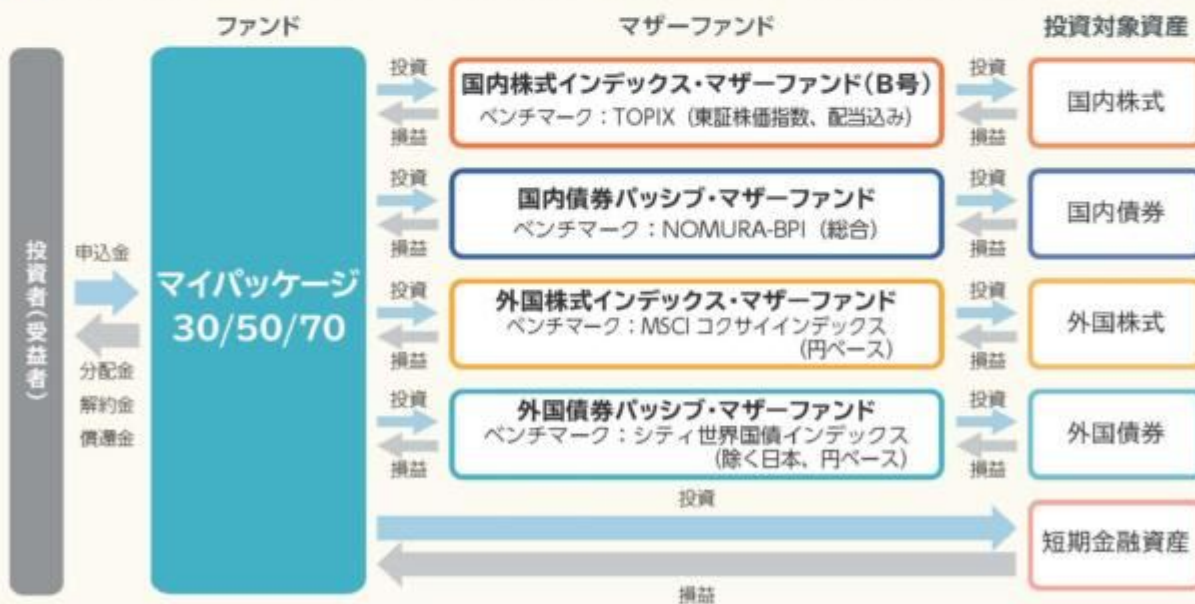
	マイパッケージ30	マイパッケージ50	マイパッケージ70
TOPIX(東証株価指数、配当込み)	20%	35%	50%
NOMURA-BPI(総合)	55%	35%	15%
MSCIコクサイインデックス(円ベース)	10%	15%	20%
シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)	10%	10%	10%
有担保コール翌日物	5%	5%	5%

4 実質外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないことを基本とします。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

ファンドのしくみ

- ファミリーファンド方式で運用を行います。
- 各マザーファンドは、ベンチマークに連動する投資成果を目指して運用を行います。



TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサイインデックス、シティ世界国債インデックスは、それぞれ東京証券取引所、野村證券株式会社、MSCI Inc.、Citigroup Index LLCが公表している指数で各社の知的財産です。

TOPIX(東証株価指数、配当込み)、NOMURA-BPI(総合)、MSCIコクサイインデックス、シティ世界国債インデックスは、それぞれ国内株式、国内債券、外国株式、外国債券の代表的な指数であり、当ファンドの合成指数を構成するものです。なお、外国株式および外国債券のベンチマークは、前日の指数を当日の対顧客電信売買相場の仲値により委託会社が円換算したものです。

※指数を公表する各社は当ファンドの運用と何ら関係ありません。

各マザーファンドの投資方針等

▶ 国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

- 主としてわが国の株式に投資し、TOPIX(東証株価指数、配当込み)と連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ポートフォリオの作成にあたっては、東証1部銘柄の中から、原則として投資不適格銘柄および低流動性銘柄を除外した上で、マルチファクターモデルを活用した最適化法により、推定トラッキングエラーの低減のみならず制約条件を加えることで、実績トラッキングエラーを抑えることを目指してポートフォリオを構築します。
- TOPIX(東証株価指数、配当込み)との連動性を随時チェックし、必要に応じてマルチファクターモデルを使用してポートフォリオのリバランスを行います。

▶ 国内債券パッシブ・マザーファンド

- わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とし、NOMURA-BPI(総合)と連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ポートフォリオの作成にあたっては、マルチファクターモデルおよび委託会社独自のリスクモデルを併用して、層化抽出法により、ファンド規模に応じデュレーション、満期構成、セクター(債券種別)配分、事業債の格付け構成および業種を可能な限りNOMURA-BPI(総合)に近づけたポートフォリオを構築します。なお事業債の銘柄選択については、委託会社クレジットアナリストの調査結果に基づき、将来的に格下げによりNOMURA-BPI(総合)から外れる可能性が高い銘柄については、組入対象から除外することがあります。
- NOMURA-BPI(総合)との連動性を随時チェックし、必要に応じてマルチファクターモデルおよび委託会社独自のリスクモデルを使用してポートフォリオのリバランスを行います。

▶ 外国株式インデックス・マザーファンド

- 主として日本を除く世界各国の株式に投資し、MSCIコクサイインデックス（円ベース）と連動する投資成果を目指して運用を行います。
- ポートフォリオの作成にあたっては、原則として投資不適格銘柄および低流動性銘柄を除外した上で、マルチファクターモデルを活用した最適化法により推定トラッキングエラーの低減のみならず、制約条件を加えることで実績トラッキングエラーを抑えることを目指してポートフォリオを構築します。
- MSCIコクサイインデックス（円ベース）との連動性を随時チェックし、必要に応じてマルチファクターモデルを使用してポートフォリオのリバランスを行います。

▶ 外国債券パッシブ・マザーファンド

- 主として日本を除く世界各国の債券に投資し、シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）と連動する投資成果を目指した運用を行います。
- ポートフォリオの作成にあたっては、マルチファクターモデルおよび委託会社独自のリスクモデルを併用して、層化抽出法により、通貨配分、国別配分、デュレーション、満期構成等を可能な限りシティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）に近づけたポートフォリオを構築します。
- シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）との連動性を随時チェックし、必要に応じてマルチファクターモデルおよび委託会社独自のリスクモデルを使用してポートフォリオのリバランスを行います。



最適化法とは

計量モデル等に基づいて、インデックスとの連動性を保てるように一部の銘柄を抽出してポートフォリオを構築する方法です。信用不安が懸念される銘柄を排除することや少額でもポートフォリオを構築することができるメリットがあります。

トラッキングエラーとは

ポートフォリオとベンチマークのリターン乖離のことをいいます。

層化抽出法とは

指数を構成する銘柄をいくつかのグループ（層）に分け、それぞれのグループから代表銘柄を抽出してファンドを構築する方法です。指数を構成するすべての銘柄を保有する完全法に比べて、少ない銘柄数でポートフォリオを構築することができるため、銘柄入れ替えに伴う取引コストの抑制や、低流動性銘柄の組入れを避けることができるというメリットがあり、債券パッシブ運用に適しています。

ベンチマークの推移

- ・以下のグラフは、ファンドのベンチマーク(合成指数)の推移です。
- ・ファンドの値動きのイメージをつかんでいただくため、ベンチマークの推移と国内外の主要な出来事を合わせて記載したものであり、ファンドの運用実績ではありません。
- ・ファンドの実際の運用実績は、後掲「基準価額・純資産の推移」をご覧ください。
- ・ファンドの将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。



※データは1996年9月末～2016年9月末。1996年9月末を100として指数化。

※有価証券売買時のコストや信託報酬等の費用負担、組入有価証券の売買のタイミング差等の影響から、当ファンドの値動きは上記推移とは異なります。

※ベンチマークである合成指数のデータは、当ファンドの基本資産配分で組み合わせたデータを用いて、委託会社が独自に計算したものであり、ベンチマークを構成する各指数の著作権、知的所有権、その他一切の権利は発行者、許諾者が有しています。これら発行者、許諾者は当ファンドの運営に何ら関与するものではなく、当ファンドの運用成果に対して一切の責任を負うものではありません。

ベンチマークの詳細は、前掲「ファンドの特色 3」をご覧ください。

(出所) FactSetのデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

(3) 【運用体制】

<更新後>

イ 運用体制

当ファンドの運用は、次のプロセスに基づいて行われます。

(イ) 計画 (Plan)

国内外のエコノミスト、アナリスト、ファンドマネージャーが、マクロ経済環境、市場環境に関する分析・検討を行います。

これを元に、担当運用グループは投資政策委員会にて、運用方針を決定し月次運用計画を策定します。

(ロ) 実行 (Do)

担当運用グループは、月次運用計画に基づき、ファンドのポートフォリオの構築、およびポートフォリオ管理の一環として日々のリスクモニタリングを行います。

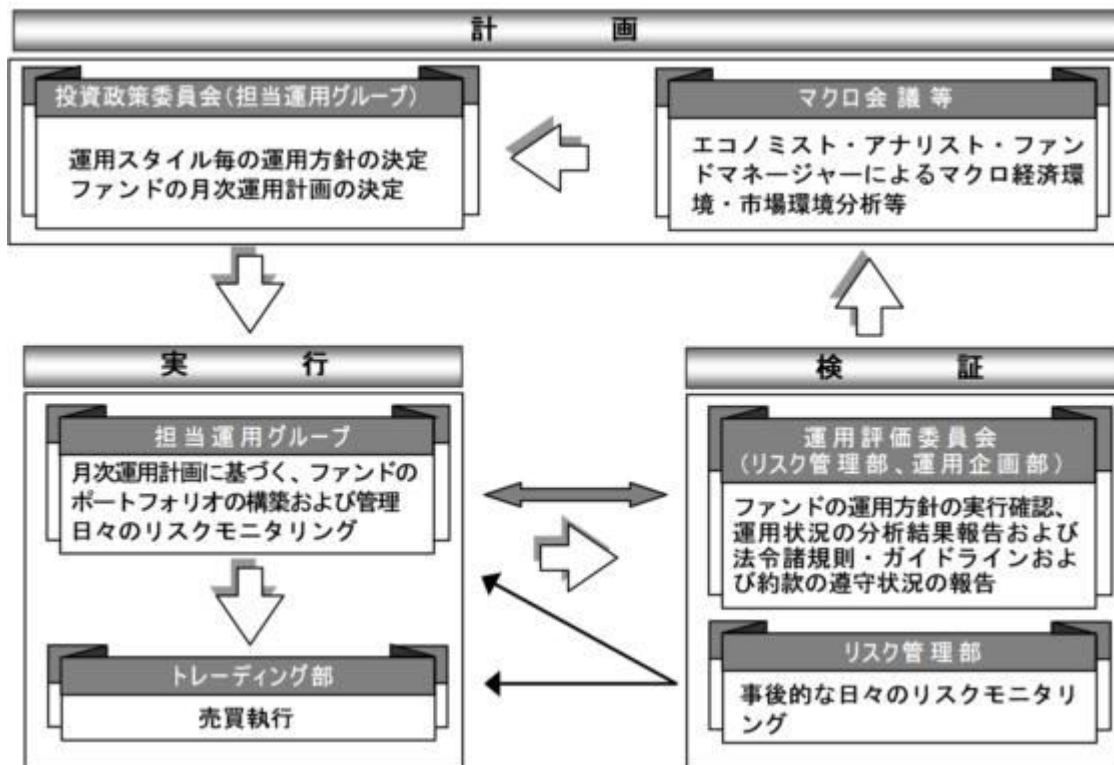
売買執行については、組織的に分離されたトレーディング部が、最良と思われる手法をもって売買を執行します。

(ハ) 検証 (Check)

運用部門から組織的に分離されたリスク管理部が、約款の遵守状況等、ファンドの運営状況を日々モニタリングし、抵触があった場合直ちに担当運用グループへ状況確認がなされます。担当運用グループは対応結果をリスク管理部へ報告します。

運用評価委員会では、ファンドの運用方針の実行状況、運用状況の分析結果を確認します。また、運用の分析、評価結果、運用リスク状況、法令諸規則、運用ガイドライン、約款の遵守状況についても報告されます。

〔ファンドの運用体制〕



リスク管理部は10名程度、運用企画部は8名程度で構成されています。

ファンドの運用体制は、委託会社の組織変更等により、変更されることがあります。

ロ 委託会社によるファンドの関係法人（販売会社を除く）に対する管理体制

ファンドの受託会社に対しては、信託財産の日常の管理業務（保管・管理・計算等）を通じて、信託事務の正確性・迅速性の確認を行い、問題がある場合は適宜改善を求めています。

(4) 【配分方針】

< 更新後 >

毎決算時(原則として毎年2月18日、ただし決算応当日が休業日の場合は翌営業日)に、原則として以下の方針に基づき分配金額を決定します。

- イ 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収益と売買益(評価損益を含みます。)等の全額とします。
- ロ 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には委託会社の判断により収益分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- ハ 留保益の運用については特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、前記「(1)投資方針」と同一の運用を行います。

ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。

(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

3【投資リスク】

<更新後>

イ ファンドのもつリスクの特性

当ファンドは、主に内外の株式や債券を投資対象としています(マザーファンドを通じて間接的に投資する場合を含みます。)。当ファンドの基準価額は、組み入れた株式や債券の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、当ファンドは預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。また、当ファンドは、預貯金や保険契約と異なり、預金保険、貯金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。登録金融機関は、投資者保護基金には加入していません。

当ファンドが有するリスク等(当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドへの投資を通じて間接的に受ける実質的なリスク等を含みます。)のうち主要なものは、以下の通りです。

(イ) 株式市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況、これらに対する外部的評価の変化等によって変動し、ファンドの基準価額が下落する要因となります。特に、企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合、当該企業の株式の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

(ロ) 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落(金利が上昇)した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

(ハ) 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。有価証券等の格付けが低い場合は、格付けの高い場合に比べてこうしたリスクがより高いものになると想定されます。

(ニ) 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（ホ）カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

（ヘ）市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

（ト）指数と連動しない要因

ファンドは、委託会社が独自に作成した合成指数に連動する投資成果を目指して運用を行います。ただし、有価証券売買時のコストおよび信託報酬その他のファンド運営にかかる費用、追加設定・解約に伴う組入有価証券の売買のタイミング差、インデックス構成銘柄と組入有価証券との誤差の影響等から、上記合成指数に連動しないことがあります。

（チ）ファミリーファンド方式にかかる留意点

当ファンドは「ファミリーファンド方式」により運用するため、当ファンドと同じマザーファンドを投資対象とする他のベビーファンドに追加設定・一部解約により資金の流出入が生じた場合、その結果として、当該マザーファンドにおいても組入有価証券の売買等が生じ、当ファンドの基準価額に影響を及ぼすことがあります。

（リ）換金制限等に関する留意点

投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

（ヌ）収益分配金に関する留意事項

分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

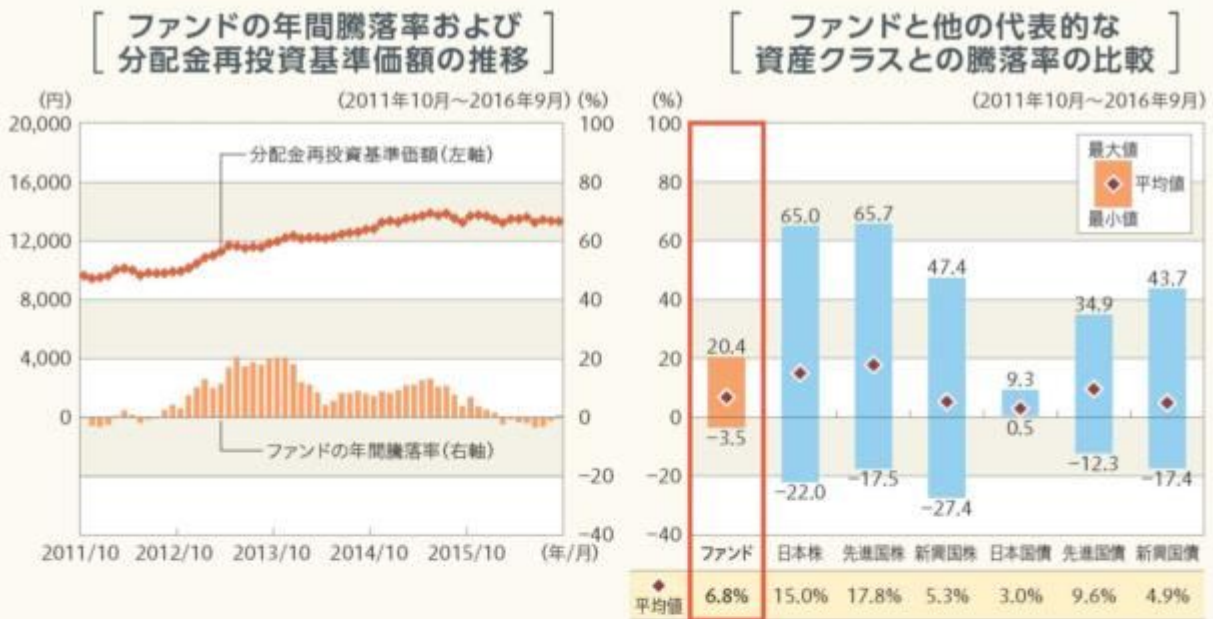
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

ロ 投資リスクの管理体制

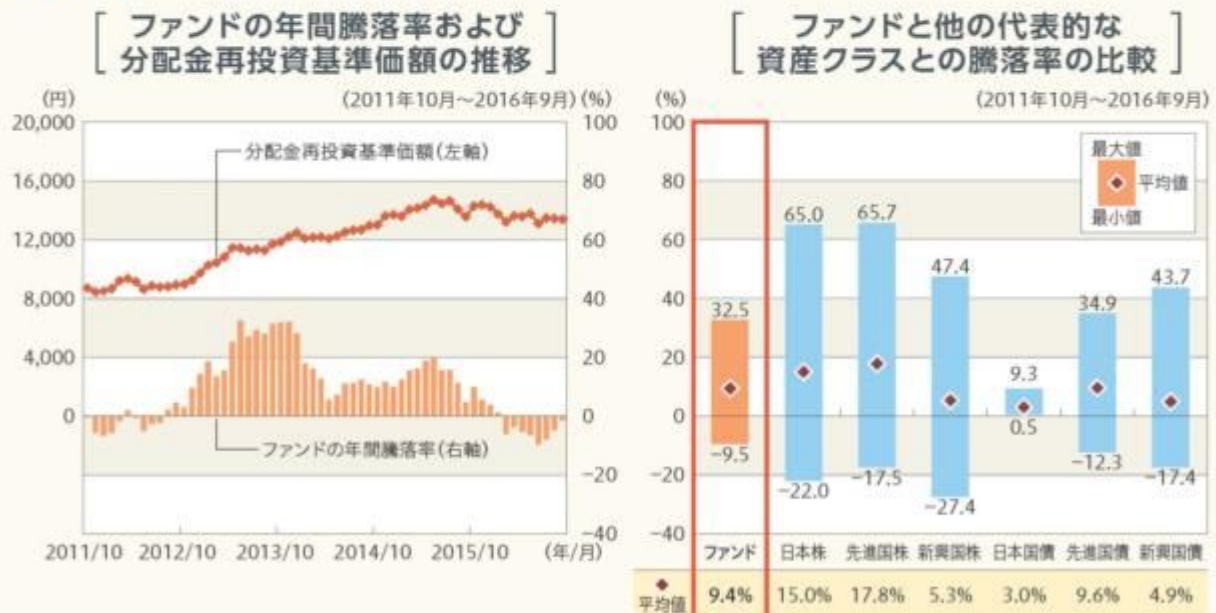
リスク管理の実効性を高め、また、コンプライアンスの徹底を図るために、運用部門から独立した組織（リスク管理部および法務コンプライアンス部）を設置し、ファンドの投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況にかかる確認等を行っています。リスク管理部では、主に投資信託約款・社内ルール等において定める各種投資制限・リスク指標のモニタリングを行います。また、法務コンプライアンス部では、主に法令・諸規則等の遵守状況についての確認等を行います。投資リスクや法令・諸規則等の遵守状況等にかかる確認結果等については、運用評価委員会、リスク管理委員会およびコンプライアンス委員会への報告が義務づけられています。

（参考情報）投資リスクの定量的比較

■マイパッケージ30



■マイパッケージ50



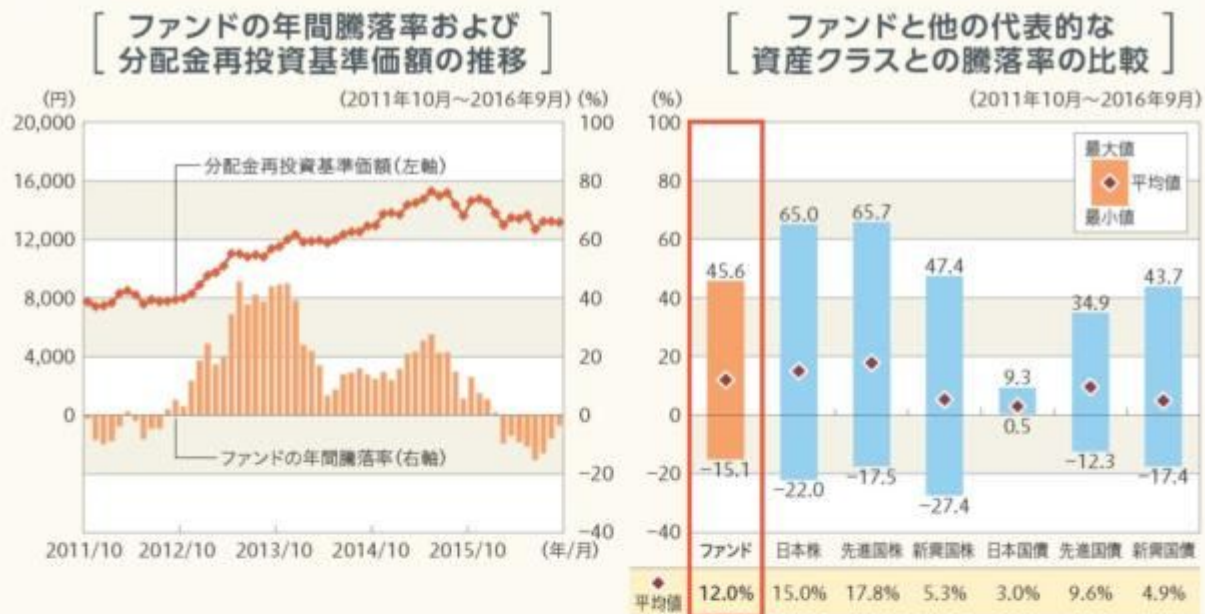
※左グラフは2011年10月～2016年9月の各月末におけるファンドの直近1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。右グラフは同期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※ファンドの分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額は基準価額と同じです。

※ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額をもとに計算したものと異なります。

※右グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

■マイパッケージ70



※左グラフは2011年10月～2016年9月の各月末におけるファンドの直近1年間の騰落率および分配金再投資基準価額の推移を表示したものです。右グラフは同期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※ファンドの分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算しており、実際の基準価額とは異なります。分配実績がない場合は、分配金再投資基準価額は基準価額と同じです。

※ファンドの騰落率は、分配金再投資基準価額をもとに計算しており、実際の基準価額をもとに計算したものと異なります。

※右グラフは、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、すべての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

<各資産クラスの指数>

日本株…TOPIX(配当込み)

先進国株…MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI(国債)

先進国債…シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースとしております。

「TOPIX(配当込み)」は、株式会社東京証券取引所が算出、公表する指数で、東京証券取引所第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象としています。

「MSCIコクサイインデックス(グロス配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc.が開発した指数で、日本を除く世界の主要先進国の株式を対象としています。

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス(グロス配当込み、円ベース)」は、MSCI Inc.が開発した指数で、新興国の株式を対象としています。

「NOMURA-BPI(国債)」は、野村證券株式会社が公表する指数で、国内で発行された公募固定利付国債を対象としています。

「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ベース)」は、Citigroup Index LLCが開発した指数で、日本を除く世界の主要国の国債を対象としています。

「JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド(円ベース)」は、J.P. Morganが算出、公表する指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象としています。

※上記各指数に関する知的財産権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。また、上記各指数の発行者および許諾者は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

4【手数料等及び税金】

(3)【信託報酬等】

< 更新後 >

純資産総額に以下の率を乗じて得た金額が信託報酬として計算され、信託財産の費用として計上されます。

信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日と各計算期末または信託終了のときに、信託財産中から支弁するものとします。

信託報酬 = 運用期間中の基準価額 × 信託報酬率

各ファンドの信託報酬率および実質的配分は以下の通りです。

< 信託報酬率およびその配分 >

	信託報酬率	配分（税抜き）		
		委託会社	販売会社	受託会社
マイパッケージ 30	年0.2376% （税抜き0.22%）	年0.09%	年0.1%	年0.03%
マイパッケージ 50	年0.2484% （税抜き0.23%）	年0.10%	年0.1%	年0.03%
マイパッケージ 70	年0.2592% （税抜き0.24%）	年0.11%	年0.1%	年0.03%

上記の配分には別途消費税等相当額がかかります。

委託会社が販売会社として募集の取扱い等をした部分については、販売会社配分相当額も委託会社が収受します。

支払先	役務の内容
委託会社	ファンド運用の指図等の対価
販売会社	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
受託会社	ファンド財産の保管および管理、委託会社からの指図の実行等の対価

(5) 【課税上の取扱い】

< 更新後 >

イ 個別元本について

(イ) 追加型株式投資信託について、受益者毎の信託時の受益権の価額等（申込手数料および当該申込手数料にかかる消費税等相当額は含まれません。）が当該受益者の元本（個別元本）にあたります。

(ロ) 受益者が同一ファンドの受益権を複数回取得した場合、個別元本は、当該受益者が追加信託を行うつど当該受益者の受益権口数で加重平均することにより算出されます。ただし、同一ファンドを複数の販売会社で取得する場合については、各販売会社毎に個別元本の算出が行われます。また、同一販売会社であっても同一受益者の顧客口座が複数存在する場合や、「分配金受取りコース」と「分配金自動再投資コース」を併用するファンドの場合には、別々に個別元本の算出が行われることがあります。

(ハ) 受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。（「元本払戻金（特別分配金）」については、下記の（収益分配金の課税について）を参照。）

ロ 一部解約時および償還時の課税について

個人の受益者については、一部解約時および償還時の譲渡益が課税対象となり、法人の受益者については、一部解約時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。

ハ 収益分配金の課税について

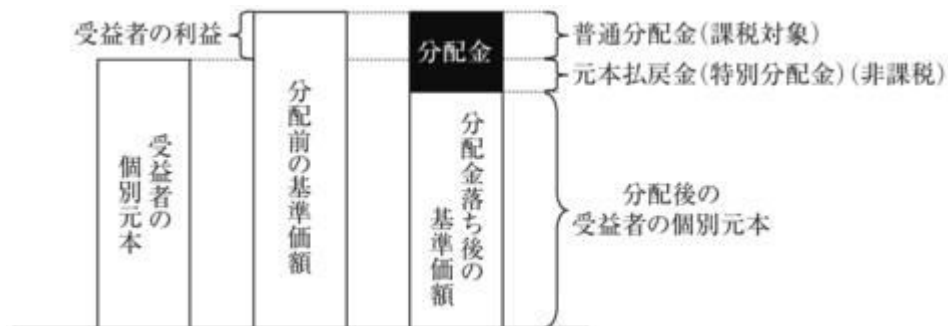
追加型株式投資信託の収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる

「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）の区分がありません。

収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本と同額の場合または当該受益者の個別元本を上回っている場合には、当該収益分配金の全額が普通分配金となります。



収益分配金落ち後の基準価額が当該受益者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、当該収益分配金から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。なお、受益者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、収益分配金発生時にその個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の当該受益者の個別元本となります。



上記、の図はあくまでもイメージ図であり、個別元本や基準価額、分配金の各水準等を示唆するものではありません。

二 個人、法人別の課税の取扱いについて

(イ) 個人の受益者に対する課税

・収益分配時

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金については、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行われ、申告不要制度が適用されます。確定申告による総合課税または申告分離課税の選択も可能です。

・一部解約時および償還時

一部解約時および償還時の譲渡益については、20.315%（所得税15.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。ただし、特定口座（源泉徴収選択口座）の利用も可能です。

また、一部解約時および償還時の損失については、確定申告により、収益分配金、特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の譲渡益および利子等、他の上場株式等にかかる譲渡益および配当等との通算が可能です。

(ロ) 法人の受益者に対する課税

収益分配金のうち課税扱いとなる普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額については、15.315%（所得税のみ）の税率で源泉徴収されます。

当ファンドは、課税上は株式投資信託として取り扱われます。

公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」の適用対象です。ただし、販売会社によっては当ファ

ンドをNISA、ジュニアNISAでの取扱い対象としない場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間120万円の範囲で、未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA（ニーサ）」をご利用の場合、毎年、年間80万円の範囲で、新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。NISA、ジュニアNISAのご利用には、販売会社での専用口座の開設等、一定の要件があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

<受取配当にかかる益金不算入制度、配当控除の適用の可否>

a. マイパッケージ30

配当控除の適用はありません。

外貨建資産割合および非株式割合

外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。

非株式割合に関する制限はありません（約款規定なし）。

b. マイパッケージ50

配当控除の適用が可能です。

外貨建資産割合および非株式割合

外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。

株式以外の資産（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合は、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資割合は、原則として信託財産総額の75%以下とします。

c. マイパッケージ70

配当控除の適用が可能です。

外貨建資産割合および非株式割合

外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の50%以下とします。

株式以外の資産（他の投資信託受益証券を通じて投資する場合は、当該他の投資信託の信託財産に属する株式以外の資産のうち、この投資信託の信託財産に属するとみなした部分を含みます。）への投資割合は、原則として信託財産総額の50%以下とします。

上記にかかわらず、確定拠出年金制度における受益者が支払いを受ける収益分配金、一部解約金、償還金はいずれも課税されません。

上記「(5)課税上の取扱い」ほか税制に関する本書の記載は、平成28年9月末現在の情報をもとに作成しています。税法の改正等により、変更されることがあります。

課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家に確認されることをお勧めいたします。

5【運用状況】

<更新後>

(1)【投資状況】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	日本	5,290,549,347	94.97

現金・預金・その他の資産(負債控除後)		280,348,610	5.03
合計(純資産総額)		5,570,897,957	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。以下同じ。

三井住友・DC年金バランス50(標準型)

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	日本	14,689,928,665	94.92
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		786,281,620	5.08
合計(純資産総額)		15,476,210,285	100.00

三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
親投資信託受益証券	日本	7,395,313,723	94.99
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		390,348,248	5.01
合計(純資産総額)		7,785,661,971	100.00

(2)【投資資産】

【投資有価証券の主要銘柄】

三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)

イ 主要投資銘柄

平成28年 9月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	親投資信託受益証券	国内債券パッシブ・マザーファンド	2,405,559,720	1.2450	2,995,159,500	1.2735	3,063,480,303	54.99
日本	親投資信託受益証券	国内株式インデックス・マザーファンド(B号)	564,912,083	1.9104	1,079,208,044	1.9679	1,111,690,488	19.96
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックス・マザーファンド	226,202,101	2.4706	558,857,262	2.4710	558,945,391	10.03
日本	親投資信託受益証券	外国債券パッシブ・マザーファンド	349,035,984	1.7145	598,443,585	1.5942	556,433,165	9.99

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

ロ 種類別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	94.97
合計	94.97

三井住友・DC年金バランス50(標準型)

イ 主要投資銘柄

平成28年 9月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価(円)	帳簿価額(円)	評価額単価(円)	評価額(円)	投資比率(%)
日本	親投資信託受益証券	国内株式インデックス・マザーファンド(B号)	2,757,970,965	1.9109	5,270,206,718	1.9679	5,427,411,062	35.07
日本	親投資信託受益証券	国内債券パッシブ・マザーファンド	4,249,665,137	1.2451	5,291,643,017	1.2735	5,411,948,551	34.97
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックス・マザーファンド	934,753,772	2.4708	2,309,604,006	2.4710	2,309,776,570	14.92
日本	親投資信託受益証券	外国債券パッシブ・マザーファンド	966,498,860	1.7190	1,661,429,271	1.5942	1,540,792,482	9.96

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

ロ 種類別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	94.92
合計	94.92

三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)

イ 主要投資銘柄

平成28年 9月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価(円)	帳簿価額(円)	評価額単価(円)	評価額(円)	投資比率(%)
日本	親投資信託受益証券	国内株式インデックス・マザーファンド(B号)	1,980,785,303	1.9127	3,788,648,050	1.9679	3,897,987,397	50.07
日本	親投資信託受益証券	外国株式インデックス・マザーファンド	628,891,211	2.4710	1,554,042,915	2.4710	1,553,990,182	19.96
日本	親投資信託受益証券	国内債券パッシブ・マザーファンド	915,443,357	1.2465	1,141,186,215	1.2735	1,165,817,115	14.97
日本	親投資信託受益証券	外国債券パッシブ・マザーファンド	487,717,369	1.7196	838,722,279	1.5942	777,519,029	9.99

以上が、当ファンドが保有する有価証券のすべてです。

ロ 種類別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	投資比率（％）
親投資信託受益証券	94.99
合計	94.99

【投資不動産物件】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

該当事項はありません。

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

該当事項はありません。

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

該当事項はありません。

【その他投資資産の主要なもの】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

該当事項はありません。

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

該当事項はありません。

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

該当事項はありません。

(3) 【運用実績】

【純資産の推移】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

年月日	純資産総額 （円）		1万口当たりの 純資産額（円）	
	（分配落）	（分配付）	（分配落）	（分配付）
第2期 （平成19年 2月19日）	284,591,517	284,591,517	10,992	10,992
第3期 （平成20年 2月18日）	709,939,713	709,939,713	10,504	10,504
第4期 （平成21年 2月18日）	925,997,054	925,997,054	8,783	8,783

第5期	(平成22年 2月18日)	1,428,892,994	1,428,892,994	9,699	9,699
第6期	(平成23年 2月18日)	1,960,814,211	1,960,814,211	10,043	10,043
第7期	(平成24年 2月20日)	2,456,937,455	2,456,937,455	9,914	9,914
第8期	(平成25年 2月18日)	3,050,834,550	3,050,834,550	10,966	10,966
第9期	(平成26年 2月18日)	3,743,242,037	3,743,242,037	12,196	12,196
第10期	(平成27年 2月18日)	4,426,547,408	4,426,547,408	13,381	13,381
第11期	(平成28年 2月18日)	4,963,496,383	4,963,496,383	13,158	13,158
	平成27年 9月末日	4,808,047,334		13,242	
	10月末日	4,998,336,530		13,676	
	11月末日	5,078,737,565		13,727	
	12月末日	5,107,635,727		13,663	
	平成28年 1月末日	5,087,211,963		13,460	
	2月末日	4,985,821,312		13,198	
	3月末日	5,175,285,504		13,479	
	4月末日	5,217,232,980		13,479	
	5月末日	5,371,208,239		13,610	
	6月末日	5,308,916,262		13,235	
	7月末日	5,446,444,973		13,429	
	8月末日	5,486,436,715		13,356	
	9月末日	5,570,897,957		13,310	

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

年月日	純資産総額 (円)		1万口当たりの 純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第2期 (平成19年 2月19日)	1,249,567,567	1,249,567,567	11,564	11,564
第3期 (平成20年 2月18日)	2,650,595,109	2,650,595,109	10,467	10,467
第4期 (平成21年 2月18日)	2,892,759,889	2,892,759,889	7,758	7,758
第5期 (平成22年 2月18日)	4,608,495,307	4,608,495,307	8,983	8,983
第6期 (平成23年 2月18日)	6,082,088,735	6,082,088,735	9,470	9,470
第7期 (平成24年 2月20日)	6,937,357,284	6,937,357,284	9,064	9,064
第8期 (平成25年 2月18日)	8,682,766,317	8,682,766,317	10,415	10,415
第9期 (平成26年 2月18日)	10,955,496,410	10,955,496,410	12,155	12,155
第10期 (平成27年 2月18日)	13,231,559,031	13,231,559,031	13,865	13,865
第11期 (平成28年 2月18日)	14,015,482,569	14,015,482,569	13,215	13,215
	平成27年 9月末日	13,995,000,661		13,550
	10月末日	14,838,531,240		14,274
	11月末日	14,970,130,287		14,367
	12月末日	14,959,562,360		14,221
	平成28年 1月末日	14,570,340,471		13,750
	2月末日	14,033,814,394		13,211

3月末日	14,693,404,210		13,610	
4月末日	14,713,579,912		13,572	
5月末日	15,180,563,886		13,764	
6月末日	14,608,309,667		13,076	
7月末日	15,230,025,534		13,456	
8月末日	15,308,604,407		13,418	
9月末日	15,476,210,285		13,361	

三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)

年月日	純資産総額 (円)		1万口当たりの 純資産額(円)	
	(分配落)	(分配付)	(分配落)	(分配付)
第2期 (平成19年 2月19日)	591,109,514	591,109,514	12,141	12,141
第3期 (平成20年 2月18日)	1,189,426,390	1,189,426,390	10,410	10,410
第4期 (平成21年 2月18日)	1,169,406,901	1,169,406,901	6,771	6,771
第5期 (平成22年 2月18日)	2,060,345,540	2,060,345,540	8,216	8,216
第6期 (平成23年 2月18日)	2,906,265,010	2,906,265,010	8,802	8,802
第7期 (平成24年 2月20日)	3,235,878,337	3,235,878,337	8,153	8,153
第8期 (平成25年 2月18日)	4,273,161,707	4,273,161,707	9,718	9,718
第9期 (平成26年 2月18日)	5,675,436,056	5,675,436,056	11,894	11,894
第10期 (平成27年 2月18日)	7,091,879,077	7,091,879,077	14,104	14,104
第11期 (平成28年 2月18日)	7,026,639,080	7,026,639,080	13,019	13,019
平成27年 9月末日	7,126,669,530		13,606	
10月末日	7,707,886,886		14,614	
11月末日	7,793,601,336		14,750	
12月末日	7,742,862,766		14,520	
平成28年 1月末日	7,413,000,717		13,771	
2月末日	7,011,140,687		12,969	
3月末日	7,421,027,960		13,472	
4月末日	7,421,756,923		13,398	
5月末日	7,673,256,110		13,645	
6月末日	7,198,790,101		12,667	
7月末日	7,626,423,796		13,217	
8月末日	7,732,846,722		13,214	
9月末日	7,785,661,971		13,147	

【分配の推移】

三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)

	計算期間	1万口当たり分配金（円）
第2期	平成18年 2月21日～平成19年 2月19日	0
第3期	平成19年 2月20日～平成20年 2月18日	0
第4期	平成20年 2月19日～平成21年 2月18日	0
第5期	平成21年 2月19日～平成22年 2月18日	0
第6期	平成22年 2月19日～平成23年 2月18日	0
第7期	平成23年 2月19日～平成24年 2月20日	0
第8期	平成24年 2月21日～平成25年 2月18日	0
第9期	平成25年 2月19日～平成26年 2月18日	0
第10期	平成26年 2月19日～平成27年 2月18日	0
第11期	平成27年 2月19日～平成28年 2月18日	0

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

	計算期間	1万口当たり分配金（円）
第2期	平成18年 2月21日～平成19年 2月19日	0
第3期	平成19年 2月20日～平成20年 2月18日	0
第4期	平成20年 2月19日～平成21年 2月18日	0
第5期	平成21年 2月19日～平成22年 2月18日	0
第6期	平成22年 2月19日～平成23年 2月18日	0
第7期	平成23年 2月19日～平成24年 2月20日	0
第8期	平成24年 2月21日～平成25年 2月18日	0
第9期	平成25年 2月19日～平成26年 2月18日	0
第10期	平成26年 2月19日～平成27年 2月18日	0
第11期	平成27年 2月19日～平成28年 2月18日	0

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

	計算期間	1万口当たり分配金（円）
第2期	平成18年 2月21日～平成19年 2月19日	0
第3期	平成19年 2月20日～平成20年 2月18日	0
第4期	平成20年 2月19日～平成21年 2月18日	0
第5期	平成21年 2月19日～平成22年 2月18日	0
第6期	平成22年 2月19日～平成23年 2月18日	0
第7期	平成23年 2月19日～平成24年 2月20日	0
第8期	平成24年 2月21日～平成25年 2月18日	0
第9期	平成25年 2月19日～平成26年 2月18日	0
第10期	平成26年 2月19日～平成27年 2月18日	0
第11期	平成27年 2月19日～平成28年 2月18日	0

【収益率の推移】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

	収益率（％）
第2期	6.1
第3期	4.4
第4期	16.4
第5期	10.4
第6期	3.5
第7期	1.3
第8期	10.6
第9期	11.2
第10期	9.7
第11期	1.7
第12期（中間期）	0.5

（注）収益率とは、計算期間末の分配基準価額から前期末分配落基準価額を控除した額を前期末分配落基準価額で除したものをいいます。

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

	収益率（％）
第2期	9.4
第3期	9.5
第4期	25.9
第5期	15.8
第6期	5.4
第7期	4.3
第8期	14.9
第9期	16.7
第10期	14.1
第11期	4.7
第12期（中間期）	0.1

（注）収益率とは、計算期間末の分配基準価額から前期末分配落基準価額を控除した額を前期末分配落基準価額で除したものをいいます。

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

	収益率（％）
第2期	12.5
第3期	14.3

第4期	35.0
第5期	21.3
第6期	7.1
第7期	7.4
第8期	19.2
第9期	22.4
第10期	18.6
第11期	7.7
第12期（中間期）	0.8

（注）収益率とは、計算期間末の分配基準価額から前期末分配基準価額を控除した額を前期末分配基準価額で除したものをいいます。

（４）【設定及び解約の実績】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

	設定口数（口）	解約口数（口）
第2期	261,744,830	3,829,999
第3期	470,245,880	53,277,789
第4期	469,037,816	90,606,169
第5期	495,358,440	76,369,973
第6期	638,803,489	159,741,067
第7期	624,991,852	99,146,353
第8期	506,925,623	202,932,959
第9期	608,587,945	321,655,472
第10期	556,143,284	317,096,474
第11期	866,745,890	402,710,540
第12期（中間期）	440,247,071	156,740,122

（注）本邦外における設定および解約の実績はありません。

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

	設定口数（口）	解約口数（口）
第2期	1,089,719,269	10,113,718
第3期	1,551,597,287	99,933,573
第4期	1,456,057,755	259,818,063
第5期	1,554,846,560	153,223,574
第6期	1,758,746,053	466,119,658
第7期	1,598,782,670	367,412,865
第8期	1,152,916,388	470,633,628
第9期	1,302,773,482	626,264,800
第10期	1,157,116,236	626,892,999

第11期	2,020,562,533	958,102,870
第12期（中間期）	1,037,535,222	336,273,677

（注）本邦外における設定および解約の実績はありません。

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

	設定口数（口）	解約口数（口）
第2期	501,029,827	15,165,803
第3期	723,490,810	67,743,433
第4期	726,637,191	142,246,748
第5期	884,174,334	103,452,149
第6期	1,002,632,701	208,523,447
第7期	823,696,243	156,788,011
第8期	707,190,254	278,967,034
第9期	956,256,090	581,638,142
第10期	858,360,534	601,602,705
第11期	1,106,054,113	737,015,945
第12期（中間期）	600,868,067	211,619,595

（注）本邦外における設定および解約の実績はありません。

（参考）

（1）投資状況

国内株式インデックス・マザーファンド（B号）

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 （円）	投資比率 （%）
株式	日本	187,917,727,500	98.66
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		2,555,041,654	1.34
合計（純資産総額）		190,472,769,154	100.00

その他以下の取引を行っております。

種類	買建/ 売建	国/地域	時価合計（円）	投資 比率 （%）
株価指数先物取引	買建	日本	2,447,550,000	1.28
合計	買建		2,447,550,000	1.28

国内債券パッシブ・マザーファンド

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国債証券	日本	165,242,009,090	75.37
地方債証券	日本	16,490,965,528	7.52
特殊債券	日本	25,462,501,581	11.61
社債券	日本	9,678,708,000	4.41
	オランダ	503,780,000	0.23
	アメリカ	301,983,000	0.14
	オーストラリア	301,537,000	0.14
	小計	10,786,008,000	4.92
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		1,257,797,821	0.58
合計(純資産総額)		219,239,282,020	100.00

外国株式インデックス・マザーファンド

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
株式	アメリカ	86,075,634,619	57.43
	イギリス	10,545,475,970	7.04
	スイス	5,784,169,638	3.86
	カナダ	5,713,463,260	3.81
	ドイツ	5,261,190,515	3.51
	フランス	5,188,186,313	3.46
	オーストラリア	3,695,741,799	2.47
	オランダ	2,561,490,276	1.71
	アイルランド	2,530,333,469	1.69
	スペイン	1,801,035,477	1.20
	スウェーデン	1,643,661,167	1.10
	香港	1,455,891,454	0.97
	デンマーク	1,044,680,785	0.70
	シンガポール	1,016,666,806	0.68
	イタリア	992,232,954	0.66

	ジャージー	905,737,262	0.60
	ベルギー	813,055,676	0.54
	バミューダ	632,953,079	0.42
	フィンランド	586,768,236	0.39
	キュラソー	519,897,482	0.35
	イスラエル	384,488,791	0.26
	ノルウェー	379,928,849	0.25
	ケイマン諸島	370,996,661	0.25
	ルクセンブルグ	167,459,683	0.11
	ニュージーランド	115,131,355	0.08
	オーストリア	111,504,173	0.07
	ポルトガル	87,541,381	0.06
	リベリア	59,141,776	0.04
	英ヴァージン諸島	41,243,080	0.03
	パプアニューギニア	34,234,573	0.02
	マン島	14,236,490	0.01
	モーリシャス	9,421,177	0.01
	小計	140,543,594,226	93.77
投資証券	アメリカ	2,683,231,692	1.79
	オーストラリア	584,471,485	0.39
	フランス	235,085,375	0.16
	イギリス	154,148,935	0.10
	香港	93,918,122	0.06
	シンガポール	76,830,265	0.05
	カナダ	33,648,019	0.02
	小計	3,861,333,893	2.58
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		5,481,779,860	3.65
合計(純資産総額)		149,886,707,979	100.00

その他以下の取引を行っております。

種類	買建/ 売建	国/地域	時価合計(円)	投資 比率 (%)
株価指数先物取引	買建	アメリカ	3,747,671,520	2.50
	買建	ドイツ	1,006,344,331	0.67

	買建	イギリス	423,447,675	0.28
	買建	オーストラリア	273,565,188	0.18
合計	買建		5,451,028,714	3.63

外国債券パッシブ・マザーファンド

平成28年 9月30日現在

資産の種類	国/地域	時価合計 (円)	投資比率 (%)
国債証券	アメリカ	70,779,498,732	42.25
	フランス	16,521,566,862	9.86
	イタリア	15,771,515,226	9.41
	イギリス	12,939,300,636	7.72
	ドイツ	12,342,687,472	7.37
	スペイン	9,050,048,840	5.40
	ベルギー	4,209,255,448	2.51
	オランダ	3,892,113,349	2.32
	カナダ	3,385,606,447	2.02
	オーストラリア	3,193,313,932	1.91
	オーストリア	2,648,470,603	1.58
	アイルランド	1,428,993,795	0.85
	メキシコ	1,355,381,173	0.81
	デンマーク	1,135,228,557	0.68
	フィンランド	997,070,010	0.60
	ポーランド	979,032,234	0.58
	南アフリカ	790,147,246	0.47
	スウェーデン	773,169,933	0.46
	マレーシア	660,806,454	0.39
	シンガポール	598,852,803	0.36
スイス	456,696,639	0.27	
ノルウェー	429,022,242	0.26	
	小計	164,337,778,633	98.10
現金・預金・その他の資産(負債控除後)		3,187,196,058	1.90
合計(純資産総額)		167,524,974,691	100.00

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

イ 主要投資銘柄(上位30銘柄)

平成28年 9月30日現在

国/地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
日本	株式	トヨタ自動車	輸送用機器	1,224,000	7,457.62	9,128,126,880	5,779.00	7,073,496,000	3.71
日本	株式	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	7,606,400	761.88	5,795,164,032	505.10	3,841,992,640	2.02
日本	株式	ソフトバンクグループ	情報・通信業	537,000	6,419.14	3,447,078,180	6,522.00	3,502,314,000	1.84
日本	株式	日本電信電話	情報・通信業	732,400	4,591.33	3,362,690,092	4,614.00	3,379,293,600	1.77
日本	株式	KDDI	情報・通信業	937,300	3,050.03	2,858,793,119	3,115.00	2,919,689,500	1.53
日本	株式	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	758,800	4,559.70	3,459,900,360	3,380.00	2,564,744,000	1.35
日本	株式	本田技研工業	輸送用機器	863,700	3,895.05	3,364,154,685	2,887.50	2,493,933,750	1.31
日本	株式	日本たばこ産業	食料品	596,200	4,416.91	2,633,361,742	4,119.00	2,455,747,800	1.29
日本	株式	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	13,630,200	239.88	3,269,612,376	168.60	2,298,051,720	1.21
日本	株式	ソニー	電気機器	677,700	3,116.27	2,111,896,179	3,293.00	2,231,666,100	1.17
日本	株式	武田薬品工業	医薬品	400,300	5,910.78	2,366,085,234	4,823.00	1,930,646,900	1.01
日本	株式	セブン&アイ・ホールディングス	小売業	396,400	5,428.37	2,151,805,868	4,757.00	1,885,674,800	0.99
日本	株式	NTTドコモ	情報・通信業	707,800	2,355.67	1,667,343,226	2,562.00	1,813,383,600	0.95
日本	株式	アステラス製薬	医薬品	1,091,200	1,717.64	1,874,288,768	1,573.50	1,717,003,200	0.90
日本	株式	ファナック	電気機器	97,300	21,429.17	2,085,058,241	17,010.00	1,655,073,000	0.87
日本	株式	三菱商事	卸売業	711,100	2,050.56	1,458,153,216	2,285.00	1,624,863,500	0.85
日本	株式	キーエンス	電気機器	21,800	66,116.81	1,441,346,458	73,460.00	1,601,428,000	0.84
日本	株式	東日本旅客鉄道	陸運業	174,000	11,448.54	1,992,045,960	9,080.00	1,579,920,000	0.83
日本	株式	任天堂	その他製品	59,100	18,598.39	1,099,164,849	26,605.00	1,572,355,500	0.83
日本	株式	キヤノン	電気機器	517,100	3,667.06	1,896,236,726	2,923.50	1,511,741,850	0.79
日本	株式	東海旅客鉄道	陸運業	85,900	21,804.25	1,872,985,075	17,210.00	1,478,339,000	0.78
日本	株式	東京海上ホールディングス	保険業	383,600	4,466.05	1,713,176,780	3,834.00	1,470,722,400	0.77
日本	株式	花王	化学	255,300	6,273.29	1,601,570,937	5,691.00	1,452,912,300	0.76
日本	株式	三菱地所	不動産業	705,000	2,535.90	1,787,809,500	1,888.00	1,331,040,000	0.70
日本	株式	村田製作所	電気機器	101,300	18,432.15	1,867,176,795	13,030.00	1,319,939,000	0.69
日本	株式	三菱電機	電気機器	1,023,000	1,340.89	1,371,730,470	1,282.50	1,311,997,500	0.69
日本	株式	ダイキン工業	機械	139,700	8,576.35	1,198,116,095	9,351.00	1,306,334,700	0.69
日本	株式	日産自動車	輸送用機器	1,308,800	1,283.48	1,679,818,624	982.70	1,286,157,760	0.68
日本	株式	信越化学工業	化学	180,300	6,846.73	1,234,465,419	7,002.00	1,262,460,600	0.66
日本	株式	ブリヂストン	ゴム製品	339,100	4,330.90	1,468,608,190	3,706.00	1,256,704,600	0.66

□ 種類別・業種別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	国内/外国	業種	投資比率 (%)
株式	国内	水産・農林業	0.10

鉱業	0.31
建設業	3.06
食料品	4.91
繊維製品	0.75
パルプ・紙	0.25
化学	6.36
医薬品	5.43
石油・石炭製品	0.48
ゴム製品	0.90
ガラス・土石製品	0.88
鉄鋼	1.19
非鉄金属	0.89
金属製品	0.66
機械	4.93
電気機器	12.04
輸送用機器	9.25
精密機器	1.49
その他製品	1.95
電気・ガス業	1.86
陸運業	4.22
海運業	0.22
空運業	0.54
倉庫・運輸関連業	0.20
情報・通信業	8.40
卸売業	4.35
小売業	4.83
銀行業	7.41
証券、商品先物取引業	0.95
保険業	2.28
その他金融業	1.26
不動産業	2.47
サービス業	3.86
合計	98.66

国内債券パッシブ・マザーファンド

イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

平成28年 9月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
日本	国債証券	第310回利付国債(10年)	3,080,000,000	105.31	3,243,794,400	105.06	3,235,971,200	1.000	2020/9/20	1.48
日本	国債証券	第305回利付国債(10年)	2,970,000,000	105.48	3,132,845,100	105.10	3,121,529,400	1.300	2019/12/20	1.42

日本	国債証券	第128回利付国債(5年)	2,980,000,000	101.53	3,025,645,700	101.66	3,029,676,600	0.100	2021/6/20	1.38
日本	国債証券	第329回利付国債(10年)	2,580,000,000	107.26	2,767,308,000	107.09	2,762,973,600	0.800	2023/6/20	1.26
日本	国債証券	第125回利付国債(5年)	2,395,000,000	101.41	2,428,769,500	101.46	2,429,990,950	0.100	2020/9/20	1.11
日本	国債証券	第301回利付国債(10年)	2,285,000,000	105.35	2,407,407,450	104.87	2,396,370,900	1.500	2019/6/20	1.09
日本	国債証券	第123回利付国債(5年)	2,330,000,000	101.26	2,359,358,000	101.30	2,360,499,700	0.100	2020/3/20	1.08
日本	国債証券	第341回利付国債(10年)	2,245,000,000	103.96	2,333,902,000	104.00	2,334,979,600	0.300	2025/12/20	1.07
日本	国債証券	第299回利付国債(10年)	2,245,000,000	104.31	2,341,939,100	103.93	2,333,340,750	1.300	2019/3/20	1.06
日本	国債証券	第312回利付国債(10年)	2,145,000,000	106.55	2,285,518,950	106.21	2,278,333,200	1.200	2020/12/20	1.04
日本	国債証券	第313回利付国債(10年)	2,105,000,000	107.36	2,260,117,450	107.01	2,252,581,550	1.300	2021/3/20	1.03
日本	国債証券	第298回利付国債(10年)	2,145,000,000	103.93	2,229,298,500	103.56	2,221,383,450	1.300	2018/12/20	1.01
日本	国債証券	第339回利付国債(10年)	2,010,000,000	104.91	2,108,691,000	104.89	2,108,469,900	0.400	2025/6/20	0.96
日本	国債証券	第315回利付国債(10年)	1,950,000,000	107.27	2,091,766,400	106.88	2,084,238,000	1.200	2021/6/20	0.95
日本	国債証券	第124回利付国債(5年)	2,040,000,000	101.35	2,067,540,000	101.38	2,068,274,400	0.100	2020/6/20	0.94
日本	国債証券	第343回利付国債(10年)	2,025,000,000	102.35	2,072,717,450	101.96	2,064,690,000	0.100	2026/6/20	0.94
日本	国債証券	第340回利付国債(10年)	1,945,000,000	104.94	2,041,083,000	104.94	2,041,238,600	0.400	2025/9/20	0.93
日本	国債証券	第306回利付国債(10年)	1,670,000,000	106.27	1,774,725,700	105.84	1,767,628,200	1.400	2020/3/20	0.81
日本	国債証券	第342回利付国債(10年)	1,600,000,000	102.12	1,634,058,700	102.05	1,632,880,000	0.100	2026/3/20	0.74
日本	国債証券	第59回利付国債(20年)	1,455,000,000	112.71	1,640,046,900	112.19	1,632,451,800	1.700	2022/12/20	0.74
日本	国債証券	第122回利付国債(5年)	1,550,000,000	101.20	1,568,677,500	101.23	1,569,080,500	0.100	2019/12/20	0.72
日本	国債証券	第334回利付国債(10年)	1,445,000,000	106.31	1,536,246,000	106.26	1,535,514,800	0.600	2024/6/20	0.70
日本	国債証券	第335回利付国債(10年)	1,430,000,000	105.60	1,510,080,000	105.57	1,509,751,100	0.500	2024/9/20	0.69
日本	国債証券	第127回利付国債(5年)	1,410,000,000	101.61	1,432,817,000	101.60	1,432,560,000	0.100	2021/3/20	0.65
日本	国債証券	第333回利付国債(10年)	1,320,000,000	106.16	1,401,440,100	106.13	1,400,995,200	0.600	2024/3/20	0.64
日本	国債証券	第149回利付国債(20年)	1,105,000,000	123.20	1,361,393,150	121.50	1,342,652,350	1.500	2034/6/20	0.61
日本	国債証券	第61回利付国債(20年)	1,215,000,000	108.40	1,317,072,150	108.13	1,313,815,950	1.000	2023/3/20	0.60
日本	国債証券	第330回利付国債(10年)	1,220,000,000	107.42	1,310,524,000	107.32	1,309,365,000	0.800	2023/9/20	0.60
日本	国債証券	第328回利付国債(10年)	1,230,000,000	105.63	1,299,249,000	105.50	1,297,760,700	0.600	2023/3/20	0.59
日本	国債証券	第338回利付国債(10年)	1,220,000,000	104.86	1,279,292,000	104.89	1,279,670,200	0.400	2025/3/20	0.58

□ 種類別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	投資比率(%)
----	---------

国債証券	75.37
地方債証券	7.52
特殊債券	11.61
社債券	4.92
合計	99.43

外国株式インデックス・マザーファンド

イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

平成28年 9月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	業種	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	投資 比率 (%)
アメリカ	株式	APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	260,314	11,806.23	3,073,328,829	11,343.64	2,952,908,719	1.97
アメリカ	株式	MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	355,022	5,451.67	1,935,463,127	5,804.28	2,060,649,934	1.37
アメリカ	株式	EXXON MOBIL CORPORATION	エネルギー	197,065	8,219.67	1,619,810,637	8,742.83	1,722,906,819	1.15
アメリカ	株式	AMAZON.COM INC	小売	19,057	67,918.46	1,294,322,138	83,833.53	1,597,615,696	1.07
アメリカ	株式	JOHNSON & JOHNSON	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	130,830	10,394.45	1,359,906,927	11,858.34	1,551,426,936	1.04
アメリカ	株式	FACEBOOK INC-A	ソフトウェア・サービス	109,985	10,733.60	1,180,535,926	12,952.46	1,424,576,401	0.95
アメリカ	株式	GENERAL ELECTRIC CO	資本財	437,492	3,065.26	1,341,029,557	2,986.07	1,306,383,311	0.87
スイス	株式	NESTLE SA-REGISTERED	食品・飲料・タバコ	151,709	7,973.29	1,209,620,522	8,066.20	1,223,715,439	0.82
アメリカ	株式	AT&T INC	電気通信サービス	292,507	3,425.07	1,001,859,556	4,118.61	1,204,724,478	0.80
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL C	ソフトウェア・サービス	14,712	75,700.63	1,113,707,741	78,369.01	1,152,964,893	0.77
アメリカ	株式	JPMORGAN CHASE & CO	銀行	173,602	6,753.39	1,172,402,360	6,638.52	1,152,461,738	0.77
アメリカ	株式	ALPHABET INC-CL A	ソフトウェア・サービス	13,942	77,869.95	1,085,662,920	81,162.95	1,131,573,944	0.75
アメリカ	株式	PROCTER & GAMBLE CO	家庭用品・パーソナル用品	126,455	7,700.90	973,818,399	8,921.81	1,128,208,445	0.75
アメリカ	株式	WELLS FARGO & COMPANY	銀行	229,555	5,557.17	1,275,678,217	4,486.69	1,029,943,133	0.69
アメリカ	株式	VERIZON COMMUNICATIONS INC	電気通信サービス	194,072	4,612.75	895,206,108	5,270.37	1,022,832,101	0.68
アメリカ	株式	PFIZER INC	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	288,187	3,308.66	953,513,844	3,369.31	970,993,762	0.65
アメリカ	株式	CHEVRON CORPORATION	エネルギー	89,765	9,141.96	820,628,215	10,240.42	919,231,517	0.61
スイス	株式	NOVARTIS AG-REG SHS	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	106,015	9,192.95	974,590,685	8,081.89	856,802,098	0.57
アメリカ	株式	INTEL CORP	半導体・半導体製造装置	224,979	3,469.39	780,540,121	3,773.79	849,025,390	0.57

スイス	株式	ROCHE HOLDING AG- GENUSSCHEIN	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	33,355	28,665.77	956,146,860	25,297.11	843,785,304	0.56
アメリカ	株式	COCA-COLA CO/THE	食品・飲料・タバコ	195,120	4,362.46	851,203,962	4,250.07	829,274,361	0.55
アメリカ	株式	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	各種金融	56,821	13,640.75	775,081,185	14,519.82	825,030,738	0.55
アメリカ	株式	MERCK & CO. INC.	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	131,414	5,465.12	718,194,111	6,260.33	822,696,216	0.55
アメリカ	株式	COMCAST CORP-CL A	メディア	115,221	6,217.31	716,365,669	6,699.19	771,888,523	0.51
アメリカ	株式	HOME DEPOT INC	小売	59,060	13,581.49	802,122,822	12,936.28	764,016,791	0.51
アメリカ	株式	CISCO SYSTEMS INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	238,789	2,762.70	659,704,419	3,174.15	757,953,728	0.51
アメリカ	株式	BANK OF AMERICA CORP	銀行	489,467	1,742.80	853,045,059	1,532.97	750,342,730	0.50
アメリカ	株式	PEPSICO INC	食品・飲料・タバコ	68,843	10,203.96	702,471,697	10,896.69	750,160,912	0.50
アメリカ	株式	VISA INC	ソフトウェア・サービス	90,431	8,047.12	727,709,641	8,283.75	749,107,832	0.50
アメリカ	株式	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC.	食品・飲料・タバコ	73,647	8,895.19	655,104,244	9,887.51	728,185,714	0.49

□ 種類別・業種別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	国内 / 外国	業種	投資比率 (%)
株式	外国	エネルギー	7.08
		素材	4.73
		資本財	6.85
		商業・専門サービス	1.02
		運輸	1.75
		自動車・自動車部品	1.43
		耐久消費財・アパレル	1.66
		消費者サービス	1.71
		メディア	2.64
		小売	3.84
		食品・生活必需品小売り	2.00
		食品・飲料・タバコ	6.72
		家庭用品・パーソナル用品	1.83
		ヘルスケア機器・サービス	3.74
		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	8.93
		銀行	7.88
		各種金融	3.94
保険	3.94		
不動産	0.78		

	ソフトウェア・サービス	8.90
	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.98
	電気通信サービス	3.15
	公益事業	3.35
	半導体・半導体製造装置	1.92
投資証券		2.58
合計		96.34

外国債券パッシブ・マザーファンド

イ 主要投資銘柄（上位30銘柄）

平成28年 9月30日現在

国/ 地域	種類	銘柄名	数量	帳簿単価 (円)	帳簿価額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 (円)	利率 (%)	償還期限	投資 比率 (%)
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.75	11,000,000	9,664.86	1,063,134,600	11,140.58	1,225,463,800	2.750	2042/11/15	0.73
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.625	6,000,000	11,433.67	686,020,203	13,019.99	781,199,403	3.625	2043/8/15	0.47
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.5	7,000,000	10,317.40	722,218,000	10,898.05	762,863,504	2.500	2024/5/15	0.46
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.375	7,000,000	10,208.38	714,586,600	10,807.20	756,504,000	2.375	2024/8/15	0.45
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.125	7,000,000	9,964.27	697,498,904	10,611.28	742,789,600	2.125	2025/5/15	0.44
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2	7,000,000	9,867.89	690,752,304	10,507.79	735,545,304	2.000	2025/2/15	0.44
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2	7,000,000	9,916.00	694,120,387	10,504.63	735,324,104	2.000	2025/8/15	0.44
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.25	6,500,000	10,170.94	661,111,406	10,714.77	696,460,053	2.250	2025/11/15	0.42
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.75	6,200,000	10,548.08	653,980,960	11,051.31	685,181,223	2.750	2023/11/15	0.41
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.625	6,000,000	10,928.07	655,684,203	11,011.02	660,661,200	3.625	2020/2/15	0.39
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 5.75	3,200,000	18,355.81	587,386,176	20,543.66	657,397,312	5.750	2032/10/25	0.39
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4.5	3,200,000	17,897.34	572,715,125	20,512.60	656,403,372	4.500	2041/4/25	0.39
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 5.5	3,500,000	17,095.59	598,345,821	18,661.43	653,150,280	5.500	2029/4/25	0.39
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 3.75	5,000,000	12,998.99	649,949,560	12,855.81	642,790,876	3.750	2019/10/25	0.38
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.25	6,000,000	10,089.75	605,385,216	10,711.61	642,696,603	2.250	2024/11/15	0.38
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.875	6,000,000	10,768.49	646,109,403	10,629.45	637,767,003	3.875	2018/5/15	0.38
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.875	6,000,000	10,268.42	616,105,200	10,243.93	614,635,803	1.875	2017/10/31	0.37
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.875	6,000,000	10,263.68	615,820,800	10,235.24	614,114,400	1.875	2017/9/30	0.37
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.625	6,000,000	9,971.10	598,266,368	10,170.46	610,227,600	1.625	2026/2/15	0.36
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1.625	6,000,000	10,147.64	608,858,689	10,167.30	610,038,000	1.625	2026/5/15	0.36
イタリア	国債証券	BTP5 5.25	3,700,000	15,857.34	586,721,887	16,459.07	608,985,904	5.250	2029/11/1	0.36
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 1	6,000,000	9,880.53	592,831,803	10,140.44	608,426,400	1.000	2019/11/30	0.36
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4.75	3,100,000	17,509.47	542,793,753	19,510.50	604,825,592	4.750	2035/4/25	0.36
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 3.5	4,000,000	14,075.57	563,022,845	15,063.05	602,522,003	3.500	2026/4/25	0.36
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4.25	4,000,000	14,499.87	579,995,105	15,007.61	600,304,682	4.250	2023/10/25	0.36

アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2.625	5,500,000	10,510.15	578,058,799	10,751.89	591,354,499	2.625	2020/11/15	0.35
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 2	5,500,000	10,037.73	552,075,699	10,527.53	579,014,699	2.000	2023/2/15	0.35
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 2.5	4,500,000	12,641.90	568,885,824	12,745.63	573,553,422	2.500	2020/10/25	0.34
フランス	国債証券	FRANCE O.A.T. 4.25	4,400,000	13,004.65	572,205,005	12,762.06	561,531,027	4.250	2019/4/25	0.34
アメリカ	国債証券	US TREASURY N/B 3.625	5,000,000	11,003.12	550,156,000	11,207.73	560,386,503	3.625	2021/2/15	0.33

□ 種類別の投資比率

平成28年 9月30日現在

種類	投資比率(%)
国債証券	98.10
合計	98.10

投資不動産物件

国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

該当事項はありません。

国内債券パッシブ・マザーファンド

該当事項はありません。

外国株式インデックス・マザーファンド

該当事項はありません。

外国債券パッシブ・マザーファンド

該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

国内株式インデックス・マザーファンド(B号)

平成28年 9月30日現在

種類	取引所等	名称	買建/ 売建	数量	通貨	簿価 (円)	時価 (円)	投資 比率 (%)
株価指数先物 取引	大阪取引所	東証株価指数先物	買建	185	日本円	2,447,399,920	2,447,550,000	1.28

(注) 主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。

国内債券パッシブ・マザーファンド

該当事項はありません。

外国株式インデックス・マザーファンド

平成28年 9月30日現在

種類	地域	取引所等	名称	買建/ 売建	数量	通貨	帳簿価額	簿価 (円)	評価額	時価 (円)	投資 比率 (%)
株価指 数先物 取引	アメリカ	シカゴ商業 取引所	SPMINI 1612	買建	345	米ドル	37,113,735	3,752,940,883	37,061,625	3,747,671,520	2.50
	ドイツ	ユーレック ス・ドイツ 金融先物取 引所	DJ EUR 1612	買建	298	ユーロ	8,818,216	999,632,966	8,877,420	1,006,344,331	0.67
	オース トラリア	シドニー先 物取引所	SP1200 1612	買建	26	オースト ラリアド ル	3,373,767	259,915,010	3,550,950	273,565,188	0.18
	イギリ ス	ロンドン国 際金融先物 オプション 取引所	FTSE 1612	買建	47	英ポンド	3,121,604	408,930,124	3,232,425	423,447,675	0.28

(注) 主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しております。

外国債券パッシブ・マザーファンド

該当事項はありません。

参考情報

基準日:2016年9月30日

※ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。
 ※委託会社ホームページにおいてもファンドの運用状況は適宜開示しています。

基準価額・純資産の推移

■マイパッケージ30



決算期	分配金
2016年2月	0円
2015年2月	0円
2014年2月	0円
2013年2月	0円
2012年2月	0円
設定来累計	0円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※直近5計算期間を記載しています。

■マイパッケージ50



決算期	分配金
2016年2月	0円
2015年2月	0円
2014年2月	0円
2013年2月	0円
2012年2月	0円
設定来累計	0円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※直近5計算期間を記載しています。

■マイパッケージ70



決算期	分配金
2016年2月	0円
2015年2月	0円
2014年2月	0円
2013年2月	0円
2012年2月	0円
設定来累計	0円

※分配金は1万口当たり、税引前です。
 ※直近5計算期間を記載しています。

※基準価額は、1万口当たり、信託報酬控除後です。

年間収益率の推移(暦年ベース)

■マイパッケージ30



■マイパッケージ 50



■マイパッケージ70



※2016年の収益率は、年初から2016年9月30日までの騰落率を表示しています。

※ベンチマークの情報はあくまで参考情報として記載しており、ファンドの運用実績ではありません。

第2【管理及び運営】

1【申込（販売）手続等】

<更新後>

イ 申込方法

(イ) ファンドの取得申込者は、お申込みを取り扱う販売会社に取引口座を開設の上、当ファンドの取得申込みを行っていただきます。

当ファンドには、「分配金受取りコース」と「分配金自動再投資コース」の2つの申込方法がありますが、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。お申込みの販売会社または委託会社にお問い合わせください。

(ロ) 原則として午後3時までに取得申込みが行われ、販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。

なお、取引所等における取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、取得申込みの受け付けを中止させていただく場合、既に受け付けた取得申込みを取り消させていただく場合があります。

(ハ) 当ファンドの取得申込者は販売会社に、取得申込みと同時にまたはあらかじめ当該取得申込者が受益権の振替を行うための振替機関等の口座を申し出るものとし、当該口座に当該取得申込

者にかかる口数の増加の記載または記録が行われます。

販売会社は、当該取得申込みの代金の支払いと引換えに、当該口座に当該取得申込者にかかる口数の増加の記載または記録を行うことができます。

ファンドのお買付けに関しましては、クーリング・オフ制度の適用はありません。

ロ 申込価額

取得申込受付日の翌営業日の基準価額となります。

ただし、累積投資契約に基づく収益分配金の再投資の場合は、各計算期末の基準価額となります。

ハ 申込手数料

無手数料です。

ニ 申込単位

お申込単位の詳細は、取扱いの販売会社または委託会社にお問い合わせください。

ホ 照会先

手続き等のご不明な点についての委託会社に対する照会は下記においてできます。

照会先の名称	電話番号	インターネット・ ホームページ・アドレス
三井住友アセットマネジメント株式会社	0120-88-2976	http://www.smam-jp.com

お問い合わせは、原則として営業日の午前9時～午後5時までとさせていただきます。

ヘ 申込取扱場所・払込取扱場所

販売会社において申込み・払込みを取り扱います。

ト 払込期日

取得申込者は、申込金額（取得申込受付日の翌営業日の基準価額×申込口数）を、販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

各取得申込みにかかる発行価額の総額は、追加信託が行われる日に、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込まれます。

第3【ファンドの経理状況】

<追加>

- 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和52年大蔵省令第38号)ならびに同規則第38条の3、第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)に基づいて作成しております。
なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第12期中間計算期間(平成28年2月19日から平成28年8月18日まで)の中間財務諸表について、有限責任あずさ監査法人により中間監査を受けております。

【中間財務諸表】

【三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)】

(1)【中間貸借対照表】

(単位:円)

第12期中間計算期間 (平成28年8月18日現在)	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	289,611,271
親投資信託受益証券	5,080,863,902
未収入金	5,300,000
流動資産合計	5,375,775,173
資産合計	5,375,775,173
負債の部	
流動負債	
未払解約金	7,197,765
未払受託者報酬	843,697
未払委託者報酬	5,343,348
未払利息	714
その他未払費用	143,435
流動負債合計	13,528,959
負債合計	13,528,959
純資産の部	
元本等	
元本	4,055,725,203
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金()	1,306,521,011
元本等合計	5,362,246,214
純資産合計	5,362,246,214
負債純資産合計	5,375,775,173

(2)【中間損益及び剰余金計算書】

(単位:円)

第12期中間計算期間 自 平成28年2月19日 至 平成28年8月18日	
営業収益	
有価証券売買等損益	24,423,031

第12期中間計算期間
自 平成28年 2月19日
至 平成28年 8月18日

営業収益合計	24,423,031
営業費用	
支払利息	75,542
受託者報酬	843,697
委託者報酬	5,343,348
その他費用	167,258
営業費用合計	6,429,845
営業利益又は営業損失（ ）	17,993,186
経常利益又は経常損失（ ）	17,993,186
中間純利益又は中間純損失（ ）	17,993,186
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	2,815,917
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	1,191,278,129
剰余金増加額又は欠損金減少額	149,782,823
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	149,782,823
剰余金減少額又は欠損金増加額	49,717,210
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	49,717,210
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	1,306,521,011

（ 3 ）【中間注記表】

（重要な会計方針の注記）

項 目	第12期中間計算期間
	自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>（1）金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>（2）金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>（3）時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

（中間貸借対照表に関する注記）

項目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)	
1. 当中間計算期間の末日における受益権の総数		4,055,725,203口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額	1.3221円
	(10,000口当たりの純資産額)	13,221円)

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

該当事項はありません。

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)
1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)
期首元本額	3,772,218,254円
期中追加設定元本額	440,247,071円
期中一部解約元本額	156,740,122円

【三井住友・DC年金バランス50（標準型）】

（1）【中間貸借対照表】

（単位：円）	
第12期中間計算期間 （平成28年 8月18日現在）	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	811,585,256
親投資信託受益証券	14,130,778,008
未収入金	510,000
流動資産合計	14,942,873,264
負債の部	
流動負債	
未払解約金	3,746,525
未払受託者報酬	2,364,927
未払委託者報酬	15,766,076
未払利息	2,001
その他未払費用	402,114
流動負債合計	22,281,643
負債合計	22,281,643
純資産の部	
元本等	
元本	11,306,864,030
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	3,613,727,591
元本等合計	14,920,591,621
純資産合計	14,920,591,621
負債純資産合計	14,942,873,264

（2）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）	
第12期中間計算期間 自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日	
営業収益	
有価証券売買等損益	19,042,871
営業収益合計	19,042,871
営業費用	
支払利息	180,668
受託者報酬	2,364,927
委託者報酬	15,766,076
その他費用	454,274
営業費用合計	18,765,945
営業利益又は営業損失（ ）	37,808,816
経常利益又は経常損失（ ）	37,808,816
中間純利益又は中間純損失（ ）	37,808,816
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	5,591,157
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	3,409,880,084
剰余金増加額又は欠損金減少額	355,754,567
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	355,754,567
剰余金減少額又は欠損金増加額	108,507,087

第12期中間計算期間
自 平成28年 2月19日
至 平成28年 8月18日

中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	108,507,087
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	3,613,727,591

（ 3 ）【中間注記表】

（重要な会計方針の注記）

項 目	第12期中間計算期間
	自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>（1）金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>（2）金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>（3）時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

（中間貸借対照表に関する注記）

項 目	第12期中間計算期間 （平成28年 8月18日現在）	
	1. 当中間計算期間の末日における受益権の総数	
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額	1.3196円
	(10,000口当たりの純資産額)	13,196円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)
1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

項目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)
期首元本額	10,605,602,485円
期中追加設定元本額	1,037,535,222円
期中一部解約元本額	336,273,677円

【三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：円)

第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)	
資産の部	
流動資産	
コール・ローン	400,053,530
親投資信託受益証券	7,081,267,129
未収入金	5,050,000
流動資産合計	7,486,370,659
資産合計	7,486,370,659
負債の部	
流動負債	
未払解約金	5,809,643

第12期中間計算期間
(平成28年 8月18日現在)

未払受託者報酬	1,184,998
未払委託者報酬	8,294,916
未払利息	986
その他未払費用	201,402
流動負債合計	15,491,945
負債合計	15,491,945
純資産の部	
元本等	
元本	5,786,627,152
剰余金	
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	1,684,251,562
元本等合計	7,470,878,714
純資産合計	7,470,878,714
負債純資産合計	7,486,370,659

(2) 【中間損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第12期中間計算期間 自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
営業収益	
有価証券売買等損益	61,187,342
営業収益合計	61,187,342
営業費用	
支払利息	88,228
受託者報酬	1,184,998
委託者報酬	8,294,916
その他費用	226,883
営業費用合計	9,795,025
営業利益又は営業損失（ ）	70,982,367
経常利益又は経常損失（ ）	70,982,367
中間純利益又は中間純損失（ ）	70,982,367
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	1,355,345
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	1,629,260,400
剰余金増加額又は欠損金減少額	191,493,623
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	191,493,623
剰余金減少額又は欠損金増加額	64,164,749
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	64,164,749
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-
分配金	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	1,684,251,562

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針の注記)

項 目	第12期中間計算期間 自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>親投資信託受益証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

（中間貸借対照表に関する注記）

項 目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)	
1. 当中間計算期間の末日における受益権の総数		5,786,627,152口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額	1.2911円
	(10,000口当たりの純資産額)	12,911円)

（中間損益及び剰余金計算書に関する注記）

該当事項はありません。

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項 目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)	
1. 中間貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、中間貸借対照表計上額と時価との差額はありませぬ。	

項 目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)
2.時価の算定方法	(1) 有価証券（親投資信託受益証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

（デリバティブ取引に関する注記）

該当事項はありません。

（その他の注記）

項 目	第12期中間計算期間 (平成28年 8月18日現在)
期首元本額	5,397,378,680円
期中追加設定元本額	600,868,067円
期中一部解約元本額	211,619,595円

（参考）

「三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）」、「三井住友・DC年金バランス50（標準型）」および「三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）」は、「国内株式インデックス・マザーファンド（B号）」、「国内債券パッシブ・マザーファンド」、「外国株式インデックス・マザーファンド」および「外国債券パッシブ・マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同マザーファンドの受益証券です。

なお、以下に記載した状況は、監査の対象外です。

国内株式インデックス・マザーファンド（B号）

貸借対照表

（単位：円）

（平成28年 8月18日現在）

資産の部	
流動資産	
コール・ローン	864,452,521
株式	188,694,122,400
派生商品評価勘定	11,760
未収配当金	267,242,049
前払金	6,960,000
流動資産合計	189,832,788,730
資産合計	189,832,788,730

（平成28年 8月18日現在）

負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	7,000,920
未払金	5,955,000
未払解約金	690,932,645
未払利息	2,131
その他未払費用	8,716
流動負債合計	703,899,412
負債合計	703,899,412
純資産の部	
元本等	
元本	99,338,624,290
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	89,790,265,028
元本等合計	189,128,889,318
純資産合計	189,128,889,318
負債純資産合計	189,832,788,730

注記表

（重要な会計方針の注記）

項目	自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等の上場されている有価証券 金融商品取引所等の上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等の上場されていない有価証券 金融商品取引所等の上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>先物取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金の計上基準</p> <p>受取配当金は原則として、配当落ち日において、確定配当金額または予想配当金額を計上しております。なお、配当金額が未確定の場合は、入金日基準で計上しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

項目	(平成28年 8月18日現在)	
1. 担保資産	代用として、担保に供している資産は次の通りであります。	
	株式	2,950,000,000円
2. 当計算期間の末日における受益権の総数		99,338,624,290口
3. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額	1.9039円
	(10,000口当たりの純資産額)	19,039円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成28年 8月18日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券（株式） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

(平成28年 8月18日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位：円)

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	471,900,000	-	464,940,000	6,960,000
	東証株価指数先物	471,900,000	-	464,940,000	6,960,000
	合計	471,900,000	-	464,940,000	6,960,000

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 株価指数先物取引の時価の算定方法について

1) 原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

2) 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(その他の注記)

(平成28年 8月18日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	101,544,937,447円
同期中における追加設定元本額	10,163,044,867円
同期中における一部解約元本額	12,369,358,024円
平成28年 8月18日現在における元本の内訳	
三井住友・日本株式インデックス年金ファンド	10,160,408,885円
三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)	555,366,771円
三井住友・DC年金バランス50(標準型)	2,739,607,025円
三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)	1,963,116,078円
SMAM・グローバルバランスファンド(機動的資産配分型)	88,546,788円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2020	8,827,446円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2025	20,553,368円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2030	61,487,813円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2035	52,156,192円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2040	30,105,068円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2045	69,372,536円
国内株式指数ファンド(TOPIX)	2,501,294,399円
三井住友・DC日本株式インデックスファンドS	1,086,129,951円
アセットアロケーション・ファンド(安定型)	1,206,127,265円
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	1,508,640,354円
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	1,834,461,330円
SMAM・国内株式パッシブ・ファンド(適格機関投資家専用)	15,600,976,923円
バランスファンドVA(安定運用型) <適格機関投資家限定>	98,903,392円
SMAM・バランスファンドVA安定成長型 <適格機関投資家限定>	12,948,319,278円
SMAM・バランスファンドVA25 <適格機関投資家専用>	6,658,870,814円
SMAM・バランスファンドVA37.5 <適格機関投資家専用>	3,846,205,372円
SMAM・バランスファンドVA50 <適格機関投資家専用>	14,027,998,154円
SMAM・バランスファンドVL30 <適格機関投資家限定>	78,636,252円
SMAM・バランスファンドVL50 <適格機関投資家限定>	343,980,291円
世界6資産バランスファンドVA <適格機関投資家限定>	20,989,286円
SMAM・バランスファンドVA75 <適格機関投資家専用>	1,473,027,934円
SMAM・バランスファンドVL国際分散型 <適格機関投資家限定>	85,108,827円
SMAM・インデックス・バランスVA25 <適格機関投資家専用>	572,663,280円
SMAM・インデックス・バランスVA50 <適格機関投資家専用>	1,675,764,693円
SMAM・バランスファンドVA40 <適格機関投資家専用>	2,853,882,383円
SMAM・バランスファンドVA35 <適格機関投資家専用>	5,045,359,893円
SMAM・バランスVA株40T <適格機関投資家限定>	129,635,642円
三井住友・5資産バランスファンド・VAS(適格機関投資家専用)	2,955,141,884円
SMAM・グローバルバランス40VA <適格機関投資家限定>	108,796,597円

(平成28年 8月18日現在)	
SMAM・バランスファンドVA20<適格機関投資家専用>	182,077,589円
三井住友・7資産バランスファンド・VAS(適格機関投資家専用)	2,806,252,558円
SMAM・アセットバランスファンドVA20A<適格機関投資家専用>	166,950,825円
SMAM・アセットバランスファンドVA35A<適格機関投資家専用>	75,223,591円
SMAM・アセットバランスファンドVA50A<適格機関投資家専用>	35,393,701円
SMAM・アセットバランスファンドVA20L<適格機関投資家専用>	370,436,382円
SMAM・アセットバランスファンドVA25L<適格機関投資家専用>	609,464,765円
SMAM・アセットバランスファンドVA20T<適格機関投資家専用>	265,047,256円
SMAM・アセットバランスファンドVA20A2<適格機関投資家専用>	182,077,999円
SMAM・アセットバランスファンドVA35A2<適格機関投資家専用>	83,362,579円
SMAM・アセットバランスファンドVA50A2<適格機関投資家専用>	13,624,409円
SMAM・アセットバランスファンドVA30L2<適格機関投資家専用>	112,887,767円
SMAM・アセットバランスファンドVA25L2<適格機関投資家専用>	1,564,787,740円
SMAM・国内株式インデックスファンド・VA(適格機関投資家専用)	269,012,300円
SMAM・アセットバランスファンドVA20T2<適格機関投資家専用>	32,435,703円
SMAM・FG新興国重視型バランス20VA<適格機関投資家限定>	24,037円
SMAM・FGグローバルバランス25VA<適格機関投資家限定>	667,099円
SMAM・グローバル・マルチアセット・グロース・ファンド(安定成長型)<適格機関投資家限定>	746,633円
SMAM・年金Wリスクコントロールファンド<適格機関投資家限定>	198,428円
SMAM・マルチアセットストラテジーファンド2016-04<適格機関投資家限定>	106,539,469円
SMAM・マルチアセットストラテジーファンド2016-05<適格機関投資家限定>	50,951,296円
合計	99,338,624,290円

国内債券パッシブ・マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

(平成28年 8月18日現在)

資産の部

流動資産

コール・ローン	716,638,384
国債証券	167,806,549,710
地方債証券	17,547,430,539
特殊債券	25,970,569,411
社債券	11,384,356,000
未収入金	379,970,950
未収利息	777,045,881
前払費用	6,839,296
流動資産合計	224,589,400,171

資産合計

224,589,400,171

負債の部

流動負債

未払解約金	405,935,743
未払利息	1,767
その他未払費用	7,770
	413,704,280

（平成28年 8月18日現在）

流動負債合計	405,945,280
負債合計	405,945,280
純資産の部	
元本等	
元本	175,674,108,516
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	48,509,346,375
元本等合計	224,183,454,891
純資産合計	224,183,454,891
負債純資産合計	224,589,400,171

注記表

（重要な会計方針の注記）

項 目	自 平成28年 2月19日
	至 平成28年 8月18日
有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券は個別法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

項 目	（平成28年 8月18日現在）
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	175,674,108,516口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 1.2761円
	(10,000口当たりの純資産額 12,761円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成28年 8月18日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券(国債証券、地方債証券、特殊債券、社債券) 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引) デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

(平成28年 8月18日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	200,347,049,687円
同期中における追加設定元本額	9,889,854,455円
同期中における一部解約元本額	34,562,795,626円
平成28年 8月18日現在における元本の内訳	
三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)	2,328,098,300円
三井住友・DC年金バランス50(標準型)	4,122,025,791円
三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)	884,184,158円
SMAM・グローバルバランスファンド(機動的資産配分型)	387,045,157円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2020	47,097,227円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2025	88,883,244円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2030	169,905,374円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2035	81,244,690円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2040	37,085,300円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2045	70,093,976円
三井住友・DC年金バランスゼロ(債券型)	17,229,334円
アセットアロケーション・ファンド(安定型)	1,200,083,722円
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	251,881,887円
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	11,312,736円
SMAM・年金グローバル債券ファンド<適格機関投資家限定>	6,057,144,203円
SMAM・バランスファンドVA25<適格機関投資家専用>	27,101,627,648円
SMAM・バランスファンドVA37.5<適格機関投資家専用>	8,692,396,844円

（平成28年 8月18日現在）	
S M A M ・ バランスファンド V A 5 0 < 適格機関投資家専用 >	20,940,554,862円
S M A M ・ バランスファンド V L 3 0 < 適格機関投資家限定 >	355,969,434円
S M A M ・ バランスファンド V L 5 0 < 適格機関投資家限定 >	681,929,869円
世界 6 資産 バランスファンド V A < 適格機関投資家限定 >	56,329,001円
S M A M ・ バランスファンド V A 7 5 < 適格機関投資家専用 >	305,116,298円
S M A M ・ バランスファンド V L 国際分散型 < 適格機関投資家限定 >	122,454,002円
S M A M ・ インデックス・バランス V A 2 5 < 適格機関投資家専用 >	2,236,390,103円
S M A M ・ インデックス・バランス V A 5 0 < 適格機関投資家専用 >	2,472,069,807円
S M A M ・ バランスファンド V A 4 0 < 適格機関投資家専用 >	6,392,288,657円
S M A M ・ バランスファンド V A 3 5 < 適格機関投資家専用 >	13,340,780,962円
S M A M ・ バランス V A 株 4 0 T < 適格機関投資家限定 >	190,377,917円
三井住友・国内債券インデックスファンド・ V A S （ 適格機関投資家専用 ）	7,048,673,790円
三井住友・ 5 資産 バランスファンド ・ V A S （ 適格機関投資家専用 ）	26,968,647,850円
S M A M ・ グローバル バランス 4 0 V A < 適格機関投資家限定 >	667,592,911円
S M A M ・ バランスファンド V A 2 0 < 適格機関投資家専用 >	1,070,659,679円
三井住友・ 7 資産 バランスファンド ・ V A S （ 適格機関投資家専用 ）	19,262,458,703円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 0 A < 適格機関投資家専用 >	1,073,648,264円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 3 5 A < 適格機関投資家専用 >	225,337,225円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 5 0 A < 適格機関投資家専用 >	52,085,614円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 0 L < 適格機関投資家専用 >	2,653,395,465円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 5 L < 適格機関投資家専用 >	2,983,556,933円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 0 T < 適格機関投資家専用 >	2,888,554,423円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 0 A 2 < 適格機関投資家専用 >	1,160,121,431円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 3 5 A 2 < 適格機関投資家専用 >	248,914,461円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 5 0 A 2 < 適格機関投資家専用 >	20,191,968円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 3 0 L 2 < 適格機関投資家専用 >	409,848,404円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 5 L 2 < 適格機関投資家専用 >	7,619,228,006円
S M A M ・ アセット バランスファンド V A 2 0 T 2 < 適格機関投資家専用 >	360,501,377円
S M A M ・ F G 新興国重視型 バランス 2 0 V A < 適格機関投資家限定 >	34,418円
S M A M ・ F G グローバル バランス 2 5 V A < 適格機関投資家限定 >	1,957,782円
S M A M ・ グローバル ・ マルチアセット ・ グロース ・ ファンド （ 安定成長型 ） < 適格機関投資家限定 >	6,024,564円
S M A M ・ 年金 マルチ ・ インカム ・ ダイナミック ・ アロケーション ・ ファンド < 適格機関投資家限定 >	2,197,496円
S M A M ・ 年金 W リスク コントロール ファンド < 適格機関投資家限定 >	2,959,014円
S M A M ・ マルチアセット ストラテジー ファンド 2 0 1 6 - 0 4 < 適格機関投資家限定 >	1,559,091,891円
S M A M ・ マルチアセット ストラテジー ファンド 2 0 1 6 - 0 5 < 適格機関投資家限定 >	746,826,344円
合計	175,674,108,516円

外国株式インデックス・マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

(平成28年 8月18日現在)

資産の部	
流動資産	
預金	767,493,215
コール・ローン	236,824,519
株式	139,564,000,158
投資証券	3,838,421,552
派生商品評価勘定	19,276,719
未収入金	19,331,323
未収配当金	273,576,583
差入委託証拠金	1,554,186,400
流動資産合計	146,273,110,469
資産合計	146,273,110,469
負債の部	
流動負債	
派生商品評価勘定	566,750
前受金	18,682,769
未払解約金	219,990,079
未払利息	583
その他未払費用	7,510
流動負債合計	239,247,691
負債合計	239,247,691
純資産の部	
元本等	
元本	59,461,443,536
剰余金	
剰余金又は欠損金()	86,572,419,242
元本等合計	146,033,862,778
純資産合計	146,033,862,778
負債純資産合計	146,273,110,469

注記表

(重要な会計方針の注記)

項目	自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>株式、投資証券は移動平均法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>(1) 先物取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、計算日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場によっております。</p> <p>(2) 為替予約取引 個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。</p>
3. 収益及び費用の計上基準	<p>受取配当金の計上基準</p> <p>受取配当金は原則として、配当落ち日において、確定配当金額または予想配当金額を計上しております。なお、配当金額が未確定の場合は、入金日基準で計上しております。</p>
4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建資産等の会計処理</p> <p>「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。</p>

(貸借対照表に関する注記)

項目	(平成28年 8月18日現在)
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	59,461,443,536口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 2.4559円
	(10,000口当たりの純資産額 24,559円)

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成28年 8月18日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券(株式、投資証券) 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定(デリバティブ取引) デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

(平成28年 8月18日現在)

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

(単位:円)

区分	種類	契約額等	うち1年超	時価	評価損益
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	2,441,801,158	-	2,460,483,927	18,682,769
	SPMINI 1609	1,684,984,860	-	1,696,425,634	11,440,774
	DJ EUR 1609	448,261,195	-	450,375,634	2,114,439
	FTSE 1609	181,791,964	-	187,486,270	5,694,306
	SPI200 1609	126,763,139	-	126,196,389	566,750
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	165,565,200	-	165,538,000	27,200
	米ドル	109,747,000	-	109,736,000	11,000
	英ポンド	45,591,000	-	45,577,000	14,000
	ノルウェークローネ	1,217,000	-	1,216,000	1,000
	デンマーククロネ	4,545,000	-	4,545,000	-
	シンガポールドル	4,465,200	-	4,464,000	1,200
合計	2,607,366,358	-	2,626,021,927	18,709,969	

(注) 1. 時価の算定方法

(1) 株価指数先物取引の時価の算定方法について

1) 原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段または最終相場で評価しています。このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しています。

2) 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

(2) 為替予約取引の時価の算定方法について

1) 計算期間末日に対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しています。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しています。

計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっています。

- ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている対顧客先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートを用いています。
 - ・ 計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い受渡日として、発表されている対顧客先物相場の仲値を用いています。
- 2) 計算期間末日において対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、計算期間末日の対顧客相場の仲値で評価しております。

2. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引はありません。

(その他の注記)

(平成28年 8月18日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	60,812,934,115円
同期中における追加設定元本額	7,698,198,642円
同期中における一部解約元本額	9,049,689,221円
平成28年 8月18日現在における元本の内訳	
三井住友・DC外国株式インデックスファンドS	9,367,581,432円
三井住友・DC年金バランス30(債券重点型)	214,340,256円
三井住友・DC年金バランス50(標準型)	892,642,280円
三井住友・DC年金バランス70(株式重点型)	602,192,744円
S M A M・グローバルバランスファンド(機動的資産配分型)	33,850,741円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2020	3,252,785円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2025	7,375,213円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2030	27,170,361円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2035	28,037,569円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2040	16,799,974円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2045	40,389,570円
外国株式指数ファンド	
三井住友・DC全海外株式インデックスファンド	844,368,852円
アセットアロケーション・ファンド(安定型)	578,115,226円
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	656,882,393円
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	1,099,671,860円
S M A M・外国株式パッシブ・ファンド(適格機関投資家専用)	7,075,019,100円
バランスファンドVA(安定運用型) <適格機関投資家限定>	37,843,473円
S M A M・バランスファンドVA安定成長型 <適格機関投資家限定>	4,969,023,758円
S M A M・バランスファンドVA25 <適格機関投資家専用>	3,439,230,248円
S M A M・バランスファンドVA37.5 <適格機関投資家専用>	2,598,671,920円
S M A M・バランスファンドVA50 <適格機関投資家専用>	10,899,884,470円
S M A M・バランスファンドVL30 <適格機関投資家限定>	30,100,751円
S M A M・バランスファンドVL50 <適格機関投資家限定>	175,868,218円
世界6資産バランスファンドVA <適格機関投資家限定>	12,239,395円
S M A M・バランスファンドVA75 <適格機関投資家専用>	1,289,000,229円

(平成28年 8月18日現在)	
S M A M ・ バランスファンドV L 国際分散型 < 適格機関投資家限定 >	99,780,699円
S M A M ・ インデックス・バランスV A 2 5 < 適格機関投資家専用 >	292,212,632円
S M A M ・ インデックス・バランスV A 5 0 < 適格機関投資家専用 >	1,293,460,238円
S M A M ・ バランスファンドV A 4 0 < 適格機関投資家専用 >	2,198,514,615円
S M A M ・ バランスファンドV A 3 5 < 適格機関投資家専用 >	2,914,971,991円
S M A M ・ バランスV A 株 4 0 T < 適格機関投資家限定 >	96,806,715円
三井住友・外国株式インデックスファンド・V A S (適格機関投資家専用)	1,201,773,832円
三井住友・5資産バランスファンド・V A S (適格機関投資家専用)	2,296,428,658円
S M A M ・ グローバルバランス4 0 V A < 適格機関投資家限定 >	250,740,901円
S M A M ・ バランスファンドV A 2 0 < 適格機関投資家専用 >	137,605,574円
三井住友・7資産バランスファンド・V A S (適格機関投資家専用)	2,174,830,751円
S M A M ・ アセットバランスファンドV A 2 0 A < 適格機関投資家専用 >	43,216,191円
S M A M ・ アセットバランスファンドV A 3 5 A < 適格機関投資家専用 >	23,181,835円
S M A M ・ アセットバランスファンドV A 5 0 A < 適格機関投資家専用 >	11,789,696円
S M A M ・ アセットバランスファンドV A 2 0 L < 適格機関投資家専用 >	91,687,331円
S M A M ・ アセットバランスファンドV A 2 5 L < 適格機関投資家専用 >	202,941,325円
S M A M ・ アセットバランスファンドV A 2 0 T < 適格機関投資家専用 >	202,032,019円
S M A M ・ F G 新興国重視型バランス2 0 V A < 適格機関投資家限定 >	17,631円
S M A M ・ F G グローバルバランス2 5 V A < 適格機関投資家限定 >	1,020,469円
S M A M ・ 外国株式インデックスファンドS A < 適格機関投資家限定 >	413,129,581円
S M A M ・ 年金Wリスクコントロールファンド < 適格機関投資家限定 >	128,206円
S M A M ・ マルチアセットストラテジーファンド2 0 1 6 - 0 4 < 適格機関投資家限定 >	81,739,473円
S M A M ・ マルチアセットストラテジーファンド2 0 1 6 - 0 5 < 適格機関投資家限定 >	39,115,874円
合計	59,461,443,536円

外国債券パッシブ・マザーファンド

貸借対照表

(単位：円)

(平成28年 8月18日現在)

資産の部

流動資産

預金	1,121,741,811
コール・ローン	508,534,807
国債証券	164,086,527,504
未収利息	1,276,516,857
前払費用	16,295,159
流動資産合計	167,009,616,138

資産合計

	167,009,616,138
--	-----------------

負債の部

流動負債

未払解約金	77,895,892
未払利息	1,253
その他未払費用	7,036
流動負債合計	77,904,181

（平成28年 8月18日現在）

負債合計	77,904,181
純資産の部	
元本等	
元本	105,525,474,653
剰余金	
剰余金又は欠損金（ ）	61,406,237,304
元本等合計	166,931,711,957
純資産合計	166,931,711,957
負債純資産合計	167,009,616,138

注記表

（重要な会計方針の注記）

項目	自 平成28年 2月19日 至 平成28年 8月18日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>国債証券は個別法に基づき、以下の通り、原則として時価で評価しております。</p> <p>(1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等の最終相場に基づいて評価しております。</p> <p>(2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 金融商品取引所等に上場されていない有価証券は、原則として金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）、価格情報会社の提供する価額または業界団体が公表する売買参考統計値等で評価しております。</p> <p>(3) 時価が入手できなかった有価証券 直近の最終相場等によって時価評価することが適当ではないと委託者が判断した場合には、委託者としての忠実義務に基づき合理的事由をもって時価と認める評価額により評価しております。</p>
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	<p>為替予約取引</p> <p>個別法に基づき、原則として時価で評価しております。時価評価にあたっては、原則として、わが国における対顧客先物相場の仲値によっております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>外貨建資産等の会計処理</p> <p>「投資信託財産の計算に関する規則」第60条および第61条に基づいて処理しております。</p>

（貸借対照表に関する注記）

項目	（平成28年 8月18日現在）
1. 当計算期間の末日における受益権の総数	105,525,474,653口
2. 1単位当たり純資産の額	1口当たり純資産額 1.5819円
	(10,000口当たりの純資産額 15,819円)

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

項目	(平成28年 8月18日現在)
1.貸借対照表計上額、時価及び差額	金融商品は、原則として、すべて時価で計上されているため、貸借対照表計上額と時価との差額はありません。
2.時価の算定方法	(1) 有価証券（国債証券） 「重要な会計方針の注記」に記載しております。 (2) 派生商品評価勘定（デリバティブ取引） デリバティブ取引については、「デリバティブ取引に関する注記」に記載しております。 (3) コール・ローン、未収入金、未払金等の金銭債権および金銭債務等 これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額を時価としております。

(デリバティブ取引に関する注記)

該当事項はありません。

(その他の注記)

(平成28年 8月18日現在)	
開示対象ファンドの	
期首における当該親投資信託の元本額	105,835,628,786円
同期中における追加設定元本額	3,923,708,476円
同期中における一部解約元本額	4,233,862,609円
平成28年 8月18日現在における元本の内訳	
三井住友・DC外国債券インデックスファンドS	7,764,204,827円
三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）	332,648,482円
三井住友・DC年金バランス50（標準型）	924,510,341円
三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）	465,552,732円
S M A M ・グローバルバランスファンド（機動的資産配分型）	55,909,508円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2020	8,793,969円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2025	22,712,096円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2030	63,511,354円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2035	43,047,156円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2040	23,244,293円
スミセイ・DCターゲットイヤーファンド2045	51,337,035円
三井住友・DC年金バランスゼロ（債券型）	3,651,102円
アセットアロケーション・ファンド（安定型）	422,779,383円

(平成28年 8月18日現在)	
アセットアロケーション・ファンド(安定成長型)	540,967,872円
アセットアロケーション・ファンド(成長型)	519,015,915円
S M A M・年金外国債券パッシブ・ファンド<適格機関投資家限定>	1,557,969,596円
S M A M・バランスファンドV A 安定成長型<適格機関投資家限定>	3,642,312,016円
S M A M・バランスファンドV A 2 5<適格機関投資家専用>	18,830,298,079円
S M A M・バランスファンドV A 3 7 . 5<適格機関投資家専用>	7,384,762,142円
S M A M・バランスファンドV A 5 0<適格機関投資家専用>	16,322,898,949円
S M A M・バランスファンドV L 3 0<適格機関投資家限定>	45,061,279円
S M A M・バランスファンドV L 5 0<適格機関投資家限定>	128,191,708円
世界6資産バランスファンドV A<適格機関投資家限定>	12,612,486円
S M A M・バランスファンドV A 7 5<適格機関投資家専用>	950,879,566円
S M A M・バランスファンドV L 国際分散型<適格機関投資家限定>	146,222,024円
S M A M・インデックス・バランスV A 2 5<適格機関投資家専用>	1,540,812,676円
S M A M・インデックス・バランスV A 5 0<適格機関投資家専用>	1,935,061,631円
S M A M・バランスファンドV A 4 0<適格機関投資家専用>	5,045,180,866円
S M A M・バランスファンドV A 3 5<適格機関投資家専用>	9,047,674,843円
S M A M・バランスV A 株 4 0 T<適格機関投資家限定>	150,974,873円
S M A M・外国債券パッシブファンドV A<適格機関投資家限定>	14,373,754,636円
三井住友・外国債券インデックスファンド・V A S (適格機関投資家専用)	1,280,620,869円
三井住友・5資産バランスファンド・V A S (適格機関投資家専用)	3,579,505,828円
S M A M・グローバルバランス4 0 V A<適格機関投資家限定>	265,522,472円
S M A M・バランスファンドV A 2 0<適格機関投資家専用>	847,724,148円
三井住友・7資産バランスファンド・V A S (適格機関投資家専用)	3,386,135,229円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 0 A<適格機関投資家専用>	191,384,727円
S M A M・アセットバランスファンドV A 3 5 A<適格機関投資家専用>	51,130,227円
S M A M・アセットバランスファンドV A 5 0 A<適格機関投資家専用>	17,410,498円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 0 L<適格機関投資家専用>	201,970,112円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 5 L<適格機関投資家専用>	708,649,951円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 0 T<適格機関投資家専用>	223,471,128円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 0 A 2<適格機関投資家専用>	207,532,259円
S M A M・アセットバランスファンドV A 3 5 A 2<適格機関投資家専用>	56,308,264円
S M A M・アセットバランスファンドV A 5 0 A 2<適格機関投資家専用>	6,619,632円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 5 L 2<適格機関投資家専用>	1,792,914,191円
S M A M・アセットバランスファンドV A 2 0 T 2<適格機関投資家専用>	27,981,867円
S M A M・F G新興国重視型バランス2 0 V A<適格機関投資家限定>	171,310円
S M A M・F Gグローバルバランス2 5 V A<適格機関投資家限定>	6,430,924円
S M A M・年金Wリスクコントロールファンド<適格機関投資家限定>	352,847円
S M A M・マルチアセットストラテジーファンド2 0 1 6 - 0 4<適格機関投資家限定>	214,447,667円
S M A M・マルチアセットストラテジーファンド2 0 1 6 - 0 5<適格機関投資家限定>	102,637,068円
合計	105,525,474,653円

2【ファンドの現況】

<更新後>

【純資産額計算書】

三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）

平成28年 9月30日現在

資産総額	5,572,927,438円
負債総額	2,029,481円
純資産総額（ - ）	5,570,897,957円
発行済口数	4,185,364,981口
1口当たり純資産額（ / ）	1.3310円
（1万口当たり純資産額）	（13,310円）

三井住友・DC年金バランス50（標準型）

平成28年 9月30日現在

資産総額	15,492,701,844円
負債総額	16,491,559円
純資産総額（ - ）	15,476,210,285円
発行済口数	11,583,014,528口
1口当たり純資産額（ / ）	1.3361円
（1万口当たり純資産額）	（13,361円）

三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）

平成28年 9月30日現在

資産総額	7,800,987,750円
負債総額	15,325,779円
純資産総額（ - ）	7,785,661,971円
発行済口数	5,922,184,993口
1口当たり純資産額（ / ）	1.3147円
（1万口当たり純資産額）	（13,147円）

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

1【委託会社等の概況】

<更新後>

イ 資本金の額および株式数

	平成28年 9月30日現在
資本金の額	2,000百万円
会社が発行する株式の総数	60,000株
発行済株式総数	17,640株

ロ 最近5年間における資本金の額の増減
該当ありません。

ハ 会社の機構

委託会社の取締役は7名以内とし、株主総会で選任されます。取締役の選任決議は、議決権を行使することができる株主の議決権の3分の1以上を有する株主が出席し、その議決権の過半数をもって行い、累積投票によらないものとします。

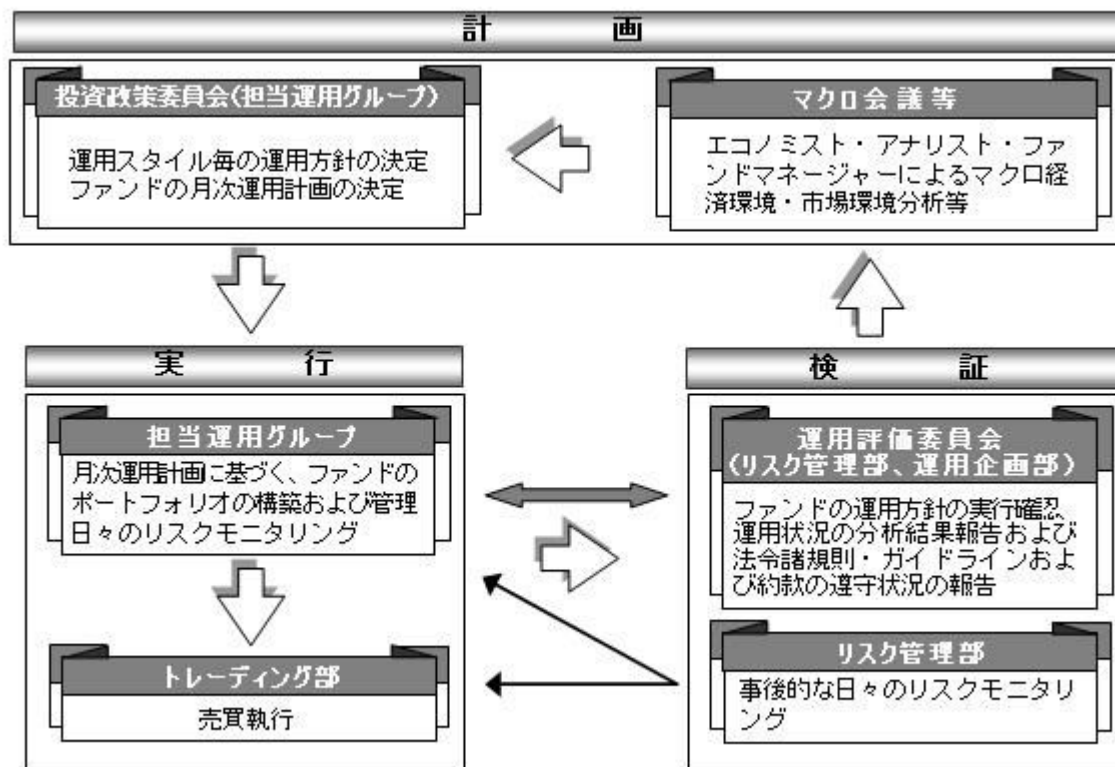
取締役の任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時株主総会の終結の時までとし、補欠または増員によって選任された取締役の任期は、他の現任取締役の任期の満了する時までとします。

委託会社の業務上重要な事項は、取締役会の決議により決定します。

取締役会は、取締役会の決議によって、代表取締役若干名を選定します。

また、取締役会の決議によって、取締役社長を1名選定します。

ニ 投資信託の運用の流れ



2【事業の内容及び営業の概況】

<更新後>

「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者として投資運用業および投資助言業務を行っています。また、「金融商品取引法」に定める第二種金融商品取引業にかかる業務を行っています。

平成28年9月30日現在、委託会社が運用を行っている投資信託（親投資信託は除きます）は、以下の通りです。

（平成28年 9月30日現在）

		本 数(本)	純資産総額(百万円)
株式投資信託	単字型	61 (16)	166,874 (63,747)
	追加型	468 (194)	4,891,894 (2,706,854)
	計	529 (210)	5,058,768 (2,770,601)
公社債投資信託	単字型	75 (75)	342,370 (342,370)
	追加型	1 (0)	26,239 (0)
	計	76 (75)	368,610 (342,370)
合 計		605 (285)	5,427,378 (3,112,972)

（ ）内は、私募投資信託分であり、内書き表記しております。

3【委託会社等の経理状況】

< 更新後 >

- 1 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号。以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。
- 2 当社は、当事業年度（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）の財務諸表については、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、有限責任 あずさ監査法人の監査を受けております。

(1) 【貸借対照表】

		(単位：千円)	
		前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
資産の部			
流動資産			
現金及び預金	2	25,021,336	10,857,507
顧客分別金信託		-	20,006
前払費用		291,119	324,934
未収入金		41,860	81,347
未収委託者報酬		4,897,032	5,418,116
未収運用受託報酬		1,000,744	1,635,461
未収投資助言報酬		455,390	382,911
未収収益		13,030	28,813
繰延税金資産		475,859	494,032
その他の流動資産		52,473	6,226
流動資産合計		32,248,847	19,249,357
固定資産			
有形固定資産			
建物	1	120,234	154,246
器具備品		230,712	240,748
有形固定資産合計		350,947	394,995
無形固定資産			
ソフトウェア		497,668	449,034
ソフトウェア仮勘定		77,155	146,452
電話加入権		91	79
商標権		222	60
無形固定資産合計		575,137	595,627
投資その他の資産			
投資有価証券		7,151,933	13,115,106
関係会社株式		509,146	10,412,523
長期差入保証金		600,480	603,625
長期前払費用		36,031	32,533
会員権		17,299	17,299
繰延税金資産		665,425	750,481
投資その他の資産合計		8,980,317	24,931,569
固定資産合計		9,906,402	25,922,192
資産合計		42,155,249	45,171,549

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
負債の部		
流動負債		
顧客からの預り金	-	0
その他の預り金	82,723	73,103
未払金		
未払収益分配金	711	154
未払償還金	143,201	141,808
未払手数料	2,338,432	2,479,778
その他未払金	1,075,587	58,453
未払費用	2,095,111	2,092,669
未払消費税等	478,421	317,444
未払法人税等	454,520	992,491
賞与引当金	906,623	982,654
その他の流動負債	808	-
流動負債合計	7,576,142	7,138,557
固定負債		
退職給付引当金	2,633,080	3,028,212
賞与引当金	-	51,310
その他の固定負債	-	693
固定負債合計	2,633,080	3,080,216
負債合計	10,209,222	10,218,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金		
資本準備金	8,628,984	8,628,984
資本剰余金合計	8,628,984	8,628,984
利益剰余金		
利益準備金	284,245	284,245
その他利益剰余金		
配当準備積立金	60,000	60,000
別途積立金	1,476,959	1,476,959
繰越利益剰余金	18,861,359	21,984,811
利益剰余金合計	20,682,564	23,806,015
株主資本計	31,311,548	34,434,999
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	634,478	517,775
評価・換算差額等合計	634,478	517,775
純資産合計	31,946,027	34,952,774
負債・純資産合計	42,155,249	45,171,549

(2) 【損益計算書】

(単位：千円)

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

営業収益		
委託者報酬	30,094,858	32,339,255
運用受託報酬	3,862,895	7,401,835
投資助言報酬	2,106,161	1,909,892
その他営業収益		
情報提供コンサルタント		
業務報酬	5,000	5,000
投資法人運用受託報酬	27,345	8,546
サービス支援手数料	18,274	74,038
その他	52,255	55,319
営業収益計	36,166,790	41,793,887
営業費用		
支払手数料	15,123,724	16,006,652
広告宣伝費	407,991	615,596
公告費	4,737	4,507
調査費		
調査費	1,319,743	1,624,477
委託調査費	3,550,675	4,106,366
営業雑経費		
通信費	38,911	43,662
印刷費	294,002	399,236
協会費	26,955	23,328
諸会費	18,577	22,650
情報機器関連費	2,403,857	2,557,200
販売促進費	28,281	31,271
その他	144,250	161,974
営業費用合計	23,361,707	25,596,925
一般管理費		
給料		
役員報酬	190,241	181,739
給料・手当	5,186,853	5,824,767
賞与	569,685	609,597
賞与引当金繰入額	906,623	1,033,964
交際費	22,609	26,912
寄付金	-	23
事務委託費	366,661	540,251
旅費交通費	226,254	277,212
租税公課	108,953	161,628
不動産賃借料	552,589	595,051
退職給付費用	387,799	701,070
固定資産減価償却費	287,833	334,024
諸経費	283,156	354,884
一般管理費合計	9,089,262	10,641,129
営業利益	3,715,820	5,555,832
営業外収益		
受取配当金	26,821	36,102
有価証券利息	1,187	-
受取利息	6,113	3,728
時効成立分配金・償還金	12	1,394
原稿・講演料	1,899	1,766
雑収入	7,324	19,472
営業外収益合計	43,357	62,465
営業外費用		

為替差損		14,361	51,385
営業外費用合計		14,361	51,385
経常利益		3,744,816	5,566,912
特別利益			
投資有価証券償還益		4,181	13,036
投資有価証券売却益		893,251	38,823
投資有価証券清算益		-	29,214
特別利益合計		897,432	81,075
特別損失			
固定資産除却損	2	1,076	5,300
投資有価証券償還損		-	2,313
投資有価証券売却損		1,091	8,184
その他の特別損失	3	973,862	-
特別損失合計		976,030	15,798
税引前当期純利益		3,666,218	5,632,188
法人税、住民税及び事業税		1,574,213	1,598,176
法人税等調整額		166,505	41,999
法人税等合計		1,740,718	1,556,177
当期純利益		1,925,499	4,076,011

(3) 【株主資本等変動計算書】

前事業年度（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		配当準備 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,000	8,628,984	8,628,984	284,245	60,000	1,476,959	19,227,103	21,048,308	31,677,292
会計方針の変更による 累積的影響額							439,043	439,043	439,043
会計方針の変更を反映した 当期首残高	2,000,000	8,628,984	8,628,984	284,245	60,000	1,476,959	18,788,060	20,609,264	31,238,248
当期変動額									
剰余金の配当							1,852,200	1,852,200	1,852,200
当期純利益							1,925,499	1,925,499	1,925,499
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	73,299	73,299	73,299
当期末残高	2,000,000	8,628,984	8,628,984	284,245	60,000	1,476,959	18,861,359	20,682,564	31,311,548

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	657,238	657,238	32,334,530
会計方針の変更による 累積的影響額			439,043
会計方針の変更を反映した 当期首残高	657,238	657,238	31,895,486
当期変動額			

剰余金の配当			1,852,200
当期純利益			1,925,499
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	22,759	22,759	22,759
当期変動額合計	22,759	22,759	50,540
当期末残高	634,478	634,478	31,946,027

当事業年度（自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本								株主資本 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
					配当準備 積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金		
当期首残高	2,000,000	8,628,984	8,628,984	284,245	60,000	1,476,959	18,861,359	20,682,564	31,311,548
当期変動額									
剰余金の配当							952,560	952,560	952,560
当期純利益							4,076,011	4,076,011	4,076,011
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）									
当期変動額合計	-	-	-	-	-	-	3,123,451	3,123,451	3,123,451
当期末残高	2,000,000	8,628,984	8,628,984	284,245	60,000	1,476,959	21,984,811	23,806,015	34,434,999

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
当期首残高	634,478	634,478	31,946,027
当期変動額			
剰余金の配当			952,560
当期純利益			4,076,011
株主資本以外の項目 の当期変動額（純 額）	116,703	116,703	116,703
当期変動額合計	116,703	116,703	3,006,747
当期末残高	517,775	517,775	34,952,774

[注記事項]

(重要な会計方針)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

(1) 満期保有目的の債券

償却原価法

(2) 子会社株式及び関連会社株式

移動平均法による原価法

(3) その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法

（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）

時価のないもの

移動平均法による原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法によっております。但し、建物(建物附属設備を除く)については、定額法によっております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建物	3～50年
器具備品	3～20年

(2) 無形固定資産

定額法によっております。

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 賞与引当金

従業員賞与の支給に充てるため、将来の支給見込額のうち、当事業年度の負担額を計上しております。

(2) 退職給付引当金

従業員の退職金支給に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき計上しております。

退職給付見込額の期間帰属方法

退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当事業年度末までの期間に帰属させる方法については、給付算定式基準によっております。

数理計算上の差異及び過去勤務費用の費用処理方法

過去勤務費用については、その発生時において一時に費用処理しております。

数理計算上の差異については、その発生時において一時に費用処理しております。

4. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(貸借対照表関係)

1 有形固定資産の減価償却累計額

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
建物	258,412千円	281,421千円
器具備品	783,602千円	758,541千円

2 関係会社に対する資産及び負債

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
現金及び預金	18,853,119千円	4,716,352千円

3 当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行1行と当座借越契約を締結しております。当事業年度末における当座借越契約に係る借入金未実行残高等は次のとおりであります。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
当座借越極度額の総額	10,000,000千円	10,000,000千円
借入実行残高	-千円	-千円

差引額	10,000,000千円	10,000,000千円
-----	--------------	--------------

4 保証債務

当社は、子会社であるSumitomo Mitsui Asset Management(New York) Inc.における賃貸借契約に係る賃借料に対し、平成35年6月までの賃借料総額の支払保証を行っております。

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
Sumitomo Mitsui Asset Management (New York) Inc.	355,376千円	296,815千円

(損益計算書関係)

1 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
受取利息	2,463千円	1,423千円

2 固定資産除却損

	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
器具備品	1,076千円	5,300千円

3 その他の特別損失

その他の特別損失は、中国において同国国家税務総局が平成26年11月17日付で公布した財税[2014]79号通達に基づき、当社が委託者として運用する証券投資信託に関し、適格国外機関投資家として課される平成21年11月17日から平成26年11月16日までに行われた中国A株投資のキャピタル・ゲインに対して遡及的に徴される源泉所得税等について納付すべきと見込まれる金額を計上したものであります。

(株主資本等変動計算書関係)

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 発行済株式数に関する事項

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数
普通株式	17,640株	-	-	17,640株

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成26年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,852,200	105,000	平成26年 3月31日	平成26年 6月27日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌事業年度になるもの
平成27年6月30日開催の第30回定時株主総会において次の通り付議いたします。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額(千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月30日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	952,560	54,000	平成27年 3月31日	平成27年 7月1日

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. 発行済株式数に関する事項

	当期首株式数	当期増加株式数	当期減少株式数	当期末株式数

普通株式	17,640株	-	-	17,640株
------	---------	---	---	---------

2. 剰余金の配当に関する事項

(1) 配当金支払額等

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成27年6月30日 定時株主総会	普通株式	952,560	54,000	平成27年 3月31日	平成27年 7月1日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生が翌事業年度になるもの
平成28年6月27日開催の第31回定時株主総会において次の通り付議いたします。

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額(千円)	一株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,010,960	114,000	平成28年 3月31日	平成28年 6月28日

(リース取引関係)

オペレーティング・リース取引

(借主側)

オペレーティング・リース取引のうち解約不能のものに係る未経過リース料

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
1年以内	572,402	579,592
1年超	1,340,637	756,470
合計	1,913,040	1,336,063

(金融商品関係)

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融サービス事業を行っています。そのため、資金運用については、短期的で安全性の高い金融資産に限定し、財務体質の健全性、安全性、流動性の確保を第一とし、顧客利益に反しない運用を行っています。また、資金調達及びデリバティブ取引は行っていません。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

営業債権である未収運用受託報酬及び未収投資助言報酬は、顧客の信用リスクに晒されています。未収委託者報酬は、信託財産中から支弁されるものであり、信託財産については受託者である信託銀行において分別管理されているため、リスクは僅少となっています。

投資有価証券については、主に事業推進目的のために保有する当社が設定する投資信託等であり、市場価格の変動リスク及び発行体の信用リスクに晒されています。関係会社株式については、主に全額出資の子会社の株式及び50%出資した海外関連会社の株式であり、発行体の信用リスクに晒されています。また、長期差入保証金は、建物等の賃借契約に関連する敷金等であり、差入先の信用リスクに晒されています。

営業債務である未払手数料は、すべて1年以内の支払期日であります。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスクの管理

当社は、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、営業債権について、取引先毎の期日管理及び残高管理を行うとともに、その状況について取締役会に報告しています。

投資有価証券、子会社株式及び関連会社株式は発行体の信用リスクについて、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、定期的に管理を行い、その状況について取締役会に報告しています。

長期差入保証金についても、差入先の信用リスクについて、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、定期的に管理を行い、その状況について取締役会に報告しています。

市場リスクの管理

投資有価証券については、自己勘定資産の運用・管理に関する規程に従い、各所管部においては所管する有価証券について管理を、企画部においては総合的なリスク管理を行い、定期的に時価を把握しています。また、資産の自己査定及び償却・引当規程に従い、その状況について取締役会に報告しています。

なお、事業推進目的のために保有する当社が設定する投資信託等については、純資産額に対する保有制限を設けており、また、自社設定投信等の取得・処分に関する規則に従い、定期的に取り締役会において報告し、投資家の資金性格、金額、および投資家数等の状況から検討した結果、目的が達成されたと判断した場合には速やかに処分することとしています。

(4)金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格及び業界団体が公表する売買参考統計値等に基づく価額のほか、これらの価額がない場合には合理的に算定された価額が含まれています。当該価額の算定においては一定の前提条件を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることがあります。

2.金融商品の時価等に関する事項

貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含まれていません（（注2）参照）。

前事業年度（平成27年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	25,021,336	25,021,336	-
(2)顧客分別金信託	-	-	-
(3)未収委託者報酬	4,897,032	4,897,032	-
(4)未収運用受託報酬	1,000,744	1,000,744	-
(5)未収投資助言報酬	455,390	455,390	-
(6)投資有価証券			
その他有価証券	7,131,075	7,131,075	-
(7)長期差入保証金	600,480	600,480	-
資産計	39,106,059	39,106,059	-
(1)顧客からの預り金	-	-	-
(2)未払手数料	2,338,432	2,338,432	-
負債計	2,338,432	2,338,432	-

当事業年度（平成28年3月31日）

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金及び預金	10,857,507	10,857,507	-
(2)顧客分別金信託	20,006	20,006	-
(3)未収委託者報酬	5,418,116	5,418,116	-
(4)未収運用受託報酬	1,635,461	1,635,461	-
(5)未収投資助言報酬	382,911	382,911	-
(6)投資有価証券			
その他有価証券	13,114,808	13,114,808	-
(7)長期差入保証金	603,625	603,625	-
資産計	32,032,437	32,032,437	-
(1)顧客からの預り金	0	0	-
(2)未払手数料	2,479,778	2,479,778	-
負債計	2,479,778	2,479,778	-

（注1）金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

資 産

- (1)現金及び預金、(2)顧客分別金信託、(3)未収委託者報酬、(4)未収運用受託報酬、及び(5)未収投資助言報酬

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

- (6)投資有価証券

これらの時価について、投資信託等については取引所の価格、取引金融機関から提示された価格及び公表されている基準価格によっております。

- (7)長期差入保証金

これらの時価については、敷金の性質及び賃貸借契約の期間から帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

負 債

- (1)顧客からの預り金、(2)未払手数料

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっています。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の貸借対照表計上額

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
その他有価証券		
非上場株式	298	298
投資証券	20,560	-
合計	20,858	298
子会社株式及び関連会社株式		
非上場株式	509,146	10,412,523
合計	509,146	10,412,523

その他有価証券については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであり、「(6) その他有価証券」には含めておりません。

子会社株式及び関連会社株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるものであることから、時価開示の対象とはしておりません。

(注3)金銭債権及び満期がある有価証券の決算日後の償還予定額

前事業年度（平成27年3月31日）

(単位：千円)

区分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	25,021,336	-	-	-
顧客分別金信託	-	-	-	-
未収委託者報酬	4,897,032	-	-	-
未収運用受託報酬	1,000,744	-	-	-
未収投資助言報酬	455,390	-	-	-
長期差入保証金	4,148	596,332	-	-
合計	31,378,651	596,332	-	-

当事業年度（平成28年3月31日）

(単位：千円)

区分	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	10,857,507	-	-	-
顧客分別金信託	20,006	-	-	-
未収委託者報酬	5,418,116	-	-	-

未収運用受託報酬	1,635,461	-	-	-
未収投資助言報酬	382,911	-	-	-
長期差入保証金	537,057	66,567	-	-
合計	18,851,060	66,567	-	-

(有価証券関係)

1. 子会社株式及び関連会社株式

前事業年度（平成27年3月31日）

子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式509,146千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度（平成28年3月31日）

子会社株式及び関連会社株式（貸借対照表計上額 関係会社株式10,412,523千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

2. その他有価証券

前事業年度（平成27年3月31日）

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1) 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	5,826,531	4,894,554	931,977
小計	5,826,531	4,894,554	931,977
(2) 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	1,304,543	1,312,300	7,756
小計	1,304,543	1,312,300	7,756
合計	7,131,075	6,206,854	924,220

(注) 非上場株式等（貸借対照表計上額 20,858千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

当事業年度（平成28年3月31日）

(単位：千円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価	差額
(1) 貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの 投資信託等	7,852,587	7,058,420	794,166
小計	7,852,587	7,058,420	794,166
(2) 貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの 投資信託等	5,262,221	5,310,100	47,878
小計	5,262,221	5,310,100	47,878
合計	13,114,808	12,368,520	746,288

(注) 非上場株式等（貸借対照表計上額 298千円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、記載しておりません。

3. 当事業年度中に売却したその他有価証券

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

(単位：千円)

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
3,892,685	893,251	1,091

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
327,278	38,823	8,184

(退職給付関係)

1. 採用している退職給付制度の概要

当社は、確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けております。また、確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けております。

2. 確定給付制度

(1)退職給付債務の期首残高と期末残高の調整表

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
退職給付債務の期首残高	1,802,340	2,633,080
会計方針の変更による累積的影響額	682,168	-
会計方針の変更を反映した期首残高	2,484,508	2,633,080
勤務費用	217,881	225,881
利息費用	18,161	19,247
数理計算上の差異の発生額	276	285,510
退職給付の支払額	87,196	135,507
退職給付債務の期末残高	2,633,080	3,028,212

(2)退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

	(単位：千円)	
	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
非積立型制度の退職給付債務	2,633,080	3,028,212
未認識数理計算上の差異	-	-
未認識過去勤務費用	-	-
退職給付引当金	2,633,080	3,028,212

(3)退職給付費用及びその内訳項目の金額

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
勤務費用	217,881	225,881
利息費用	18,161	19,247
数理計算上の差異の費用処理額	276	285,510
その他	152,031	170,430
確定給付制度に係る退職給付費用	387,799	701,070

(注) その他は、その他の関係会社等からの出向者の年金掛金負担分及び退職給付引当額相当額負担分、退職定年制度適用による割増退職金並びに確定拠出年金への拠出額になります。

(4)数理計算上の計算基礎に関する事項

主要な数理計算上の計算基礎（加重平均で表わしております。）

	(単位：千円)	
	前事業年度 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	当事業年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)
割引率	0.731%	0.000%

3. 確定拠出制度

当社の確定拠出制度への要拠出額は、前事業年度105,357千円、当事業年度125,210千円であります。

(税効果会計関係)

1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(単位：千円)	
	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
流動の部		
繰延税金資産		
賞与引当金	299,729	303,247
調査費	77,863	74,734
未払金	321,602	44,028
未払事業税	49,504	67,598
その他	48,762	7,369
繰延税金資産小計	797,462	496,977
評価性引当額	321,602	2,945
繰延税金資産合計	475,859	494,032
固定の部		
繰延税金資産		
退職給付引当金	849,431	927,238
特定外国子会社留保金額	211,024	205,413
ソフトウェア償却	62,560	35,707
賞与引当金	-	15,834
投資有価証券評価損	43,051	95
その他	6,291	5,971
繰延税金資産小計	1,172,360	1,190,261
評価性引当額	217,192	211,267
繰延税金資産合計	955,168	978,994
繰延税金負債		
その他有価証券評価差額金	289,742	228,513
繰延税金負債合計	289,742	228,513
繰延税金資産の純額	1,141,285	1,244,513

2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	(単位：%)	
	前事業年度 (平成27年3月31日)	当事業年度 (平成28年3月31日)
法定実効税率	35.6%	33.0%
(調整)		
評価性引当額の増減	9.6	5.5
交際費等永久に損金に算入されない項目	0.2	0.1
受取配当等永久に益金に算入されない項目	0.5	0.0
住民税均等割等	0.2	0.1
税率変更による期末繰延税金資産の減額修正	3.7	1.3
所得税額控除による税額控除	1.3	1.5
その他	0.1	0.0
税効果会計適用後の法人税等の負担率	47.5	27.6

3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等

の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月29日に成立し、平成28年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産および繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.2%から平成28年4月1日に開始する事業年度及び平成29年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.8%、平成30年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については、30.6%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額(繰延税金負債の金額を控除した金額)は62,206千円減少し、法人税等調整額が74,445千円、その他有価証券評価差額金が12,239千円、それぞれ増加しております。

(セグメント情報等)

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	30,094,858	3,862,895	2,106,161	102,874	36,166,790

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

当事業年度(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)

1. セグメント情報

当社は、投資運用業及び投資助言業などの金融商品取引業を中心とする営業活動を展開しております。これらの営業活動は、金融その他の役務提供を伴っており、この役務提供と一体となった営業活動を基に収益を得ております。

従って、当社の事業区分は、「投資・金融サービス業」という単一の事業セグメントに属しており、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

2. 関連情報

(1) 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	委託者報酬	運用受託報酬	投資助言報酬	その他	合計
外部顧客への売上高	32,339,255	7,401,835	1,909,892	142,903	41,793,887

(2) 地域ごとの情報

売上高

本邦の外部顧客への売上高に区分した金額が損益計算書の売上高の90%を超えるため、地域ごとの売上高の記載を省略しております。

有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、地域ごとの有形固定資産の記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

該当事項はありません。

5. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

該当事項はありません。

(関連当事者情報)

前事業年度(自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)

1. 親会社及び主要株主（会社等の場合に限る。）等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社	(株)三井住友銀行	東京都千代田区	1,770,996,505	銀行業	(被所有) 直接 40 %	投信の販売委託 役員の兼任	委託販売手数料	2,527,962	未払手数料	289,954

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

2. 子会社及び関連会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
子会社	ソーラーエナジー投資合同会社	東京都港区	20,000	投資運用業	(所有) 直接100 %	投資事業有限責任組合の運営及び管理	出資の引受	20,000	-	-
関連会社	UOB-SM Asset Management Pte. Ltd.	Singapore	6,000,000 (シンガポールドル)	投資運用業	(所有) 直接50 %	投信の販売委託 役員の兼任	増資の引受	136,110	-	-

(注) 1. ソーラーエナジー投資合同会社の出資の引受は、新規法人設立のため行ったものであります。

2. UOB-SM Asset Management Pte. Ltd.の増資の引受については、当社とUOBアセットマネジメント社がそれぞれ1,500,000(シンガポールドル) 出資しました。

3. その他の関係会社の子会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社の子会社	S M B C 日興証券(株)	東京都千代田区	10,000,000	証券業	- %	投信の販売委託 役員の兼任	委託販売手数料	4,705,879	未払手数料	697,658

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

当事業年度(自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)

1. 親会社及び主要株主(会社等の場合に限る。)等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社	(株)三井住友銀行	東京都千代田区	1,770,996,505	銀行業	(被所有) 40 % 直接	投信の販売委託 役員の兼任	委託販売手数料	2,740,552	未払手数料	471,118

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

2. 兄弟会社等

(単位：千円)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金、出資金又は基金	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
その他の関係会社の子会社	S M B C 日興証券(株)	東京都千代田区	10,000,000	証券業	-	% 投信の販売委託 役員の兼任	子会社株式の取得	9,877,717	-	-
							委託販売手数料	5,483,224	未払手数料	912,899

(注) 1. 上記金額のうち、取引金額には消費税等は含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

2. 取引条件及び取引条件の決定方針等

(1) 投信の販売委託については、一般取引条件を基に、協議の上決定しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	当事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)
1株当たり純資産額	1,810,999.27円	1,981,449.82円
1株当たり当期純利益金額	109,155.30円	231,066.40円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 平成26年 4月 1日 至 平成27年 3月31日)	当事業年度 (自 平成27年 4月 1日 至 平成28年 3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益(千円)	1,925,499	4,076,011
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益金額(千円)	1,925,499	4,076,011

期中平均株式数(株)	17,640	17,640
------------	--------	--------

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5【その他】

<更新後>

イ 定款の変更、その他の重要事項

平成28年6月27日に開催された定時株主総会において、監査体制の見直しにより監査役の員数を2名増員し6名以内とする定款の変更が決議されました。

ロ 訴訟事件その他会社に重要な影響を与えることが予想される事実

該当ありません。

第2【その他の関係法人の概況】

1【名称、資本金の額及び事業の内容】

<更新後>

イ 受託会社

- (イ) 名称 三井住友信託銀行株式会社
- (ロ) 資本金の額 342,037百万円(平成28年3月末現在)
- (ハ) 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

[参考情報：再信託受託会社の概要]

- ・ 名称 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社
- ・ 資本金の額 51,000百万円(平成28年3月末現在)
- ・ 事業の内容 銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律に基づき信託業務を営んでいます。

ロ 販売会社

(イ) 名称	(ロ) 資本金の額	(ハ) 事業の内容
S M B C 日興証券株式会社	10,000百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を営んでいます。
株式会社 S B I 証券	47,937百万円	
カブドットコム証券株式会社	7,196百万円	
損保ジャパン日本興亜 D C 証券株式会社	3,000百万円	
東海東京証券株式会社	6,000百万円	
マネックス証券株式会社	12,200百万円	
楽天証券株式会社	7,495百万円	
株式会社みずほ銀行	1,404,065百万円	銀行法に基づき、銀行業を営んでいます。
株式会社三井住友銀行	1,770,996百万円	
住友生命保険相互会社	639,000百万円	保険業法に基づき、生命保険業を営んでいます。
三井生命保険株式会社	167,280百万円	

資本金の額は、平成28年3月末現在。

住友生命保険相互会社の資本金の額は、平成28年3月末現在の基金および基金償却積立金の合計額を記載しております。

3【資本関係】

<更新後>

販売会社である住友生命保険相互会社は、委託会社株式を3,528株（持株比率20.0%）保有していません。

第3【その他】

<更新後>

- 1．目論見書の表紙等にロゴ・マーク、写真、イラスト、図案およびキャッチコピーを採用すること、ファンドの形態および属性、申込みにかかる事項、ユニバーサルデザインフォントマーク、委託会社の金融商品取引業者登録番号、当該目論見書の使用開始日などを記載することがあります。
- 2．目論見書は、目論見書の別称として「投資信託説明書（交付目論見書）」または「投資信託説明書（請求目論見書）」と称して使用することがあります。
- 3．目論見書に当ファンドの信託約款を掲載すること、および投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されている旨を記載することがあります。
- 4．目論見書は、電子媒体等として使用されるほか、インターネット等に掲載されることがあります。
- 5．有価証券届出書の表紙記載情報を抜粋して、目論見書に記載することがあります。
- 6．目論見書の冒頭または巻末に届出書記載内容に関連する用語集を掲載することがあります。
- 7．評価機関等から当ファンドに対する評価を取得し、使用することがあります。
- 8．有価証券届出書を個別に提出している複数のファンドの実質的な投資対象資産に共通性がある場合には、当該複数のファンドを一つの投資信託説明書（交付目論見書）で説明することがあります。このため、有価証券届出書に他のファンドの情報を合わせて記載することがあります。
- 9．当ファンドとスイッチング対象ファンドにかかる投資信託説明書（交付目論見書）を一体のものとして使用することがあります。

独立監査人の中間監査報告書

平成28年9月27日

三井住友アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 小澤 陽 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）の平成28年2月19日から平成28年8月18日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三井住友・DC年金バランス30（債券重点型）の平成28年8月18日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成28年2月19日から平成28年8月18日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三井住友アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。 2 . X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成28年9月27日

三井住友アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 小澤 陽 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三井住友・DC年金バランス50（標準型）の平成28年2月19日から平成28年8月18日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三井住友・DC年金バランス50（標準型）の平成28年8月18日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成28年2月19日から平成28年8月18日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三井住友アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。 2 . X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の中間監査報告書

平成28年9月27日

三井住友アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 小澤 陽 一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）の平成28年2月19日から平成28年8月18日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、三井住友・DC年金バランス70（株式重点型）の平成28年8月18日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成28年2月19日から平成28年8月18日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

三井住友アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1 . 上記は中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。 2 . X B R L データは中間監査の対象には含まれていません。

独立監査人の監査報告書

平成28年 6月17日

三井住友アセットマネジメント株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小澤 陽 一 印指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 池ヶ谷 正 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている三井住友アセットマネジメント株式会社の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの第31期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、三井住友アセットマネジメント株式会社の平成28年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。2. X B R L データは監査の対象には含まれていません。